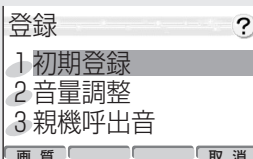
便利な機能

便利に

親機の待機画面を変える

親機の待機画面は、はじめ「アニメーション」になっていますが、「ガーベラ」、「森林と川」「ダウンロード画像（Lモードからダウンロードした画像）」に変えることができます。
（アニメーション以外は静止画です。）

親機の待機画面を変える

1 登録 を押す

登録
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質　取消

2 上 または 下 で「詳細設定」を選び、決定 を押す

詳細設定
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質　取消

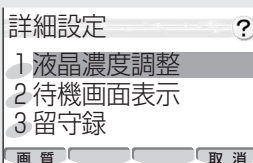
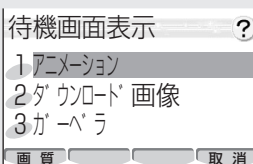
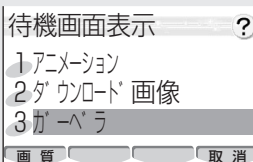
3 上 または 下 で「待機画面表示」を選び、決定 を押す

待機画面表示
1 アニメーション
2 ダウンロード画像
3 ガーベラ
画質　取消

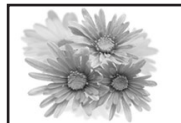
4 上 または 下 で表示させたい画像を選ぶ

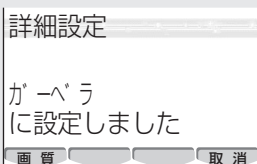
待機画面表示
1 アニメーション
2 ダウンロード画像
3 ガーベラ
画質　取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

● 「ダウンロード画像」はあらかじめ待機画面として登録しないと表示されません。（P.8-63～8-64）

アニメーション

ガーベラ

森林と川

次ページへ→

●待機画面に表示されます。

■ **登録した画像を消去するときは**

ダウンロード画像を消去することはできません。ダウンロード画像を変更するときは、もう１度待機画面に登録（P.8-63～8-64）すると書き換えられます。

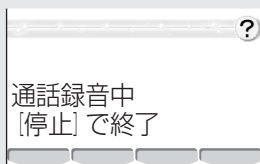
通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約12分間録音できます。録音できる件数は30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

親機で通話を録音する

スピーカーホン通話中は受話器を取ってから操作してください。

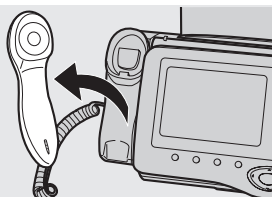
1 通話中に 機能選択 **を押し「録音」を選び、** /決定 **を押す**

通話録音中
[停止] で終了

●内線通話中やドアホン通話中は、通話録音できません。

2 録音をやめるときは 停止 **を押す**

●録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

親機で伝言メモを録音する

1 受話器を取る

2 機能選択 **を押し「録音」を選び、** /決定 **を押したあと、受話器で伝言を話す**

3 話し終わったら、 停止 **を押して受話器を置く**

●録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

■ **録音内容を再生するときは（P.6-5～6-6）**

■ **録音内容を消去するときは（P.6-7）**

お知らせ

- 子機では通話や伝言メモを録音することはできません。
- ファクスのメモリー受信データやダウンロードしたデータなどがあると録音できる時間が少なくなります。
- スピーカーホンで通話録音や伝言メモ録音することはできません。

着信記録や再ダイヤルの番号を電話帳に登録する（子機）

子機では着信記録や再ダイヤルの電話番号を電話帳に登録することができます。

着信記録や再ダイヤルの番号を電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 着信記録のときは
着信記録 **を押す**
再ダイヤルのときは
再ダイヤル **を押す**

〈着信記録01〉
09012345678
12月30日 15:01

2 **または** **で登録する電話番号を選んだあと、** 電話帳 **を押す**

▶特番ダイヤル
電話帳へ登録
消去
◀戻る　選択▶

3 **または** **で「電話帳へ登録」を選び、** 電話帳 **を押す**

名前?　[漢]
[機能] 決定

●名前の入力を省略するときは機能ボタンを 2 回押して手順 6 へ進みます。

4 **名前を入れ、** 機能 **を押す（最大全角 6 文字、半角 12文字）**
（P.1-38,1-42～1-44）

読み　半 [カナ]
イケダ　サトシ
[機能] 決定

5 「読み」が正しければ
機能 **を 2 回押す**

池田 悟
第2番号?
[機能] 決定

●「読み」に変更があれば修正します。（P.1-38,1-42～1-44）
●「読み」の入力は半角文字で最大12文字まで入力できます。
●第 1 番号として登録します。

6 **電話番号（第 2 番号）を入れる（最大16ケタ）**

池田 悟
0387654321
[機能] 決定

●第 2 番号を省略するときは手順 7 へ進みます。

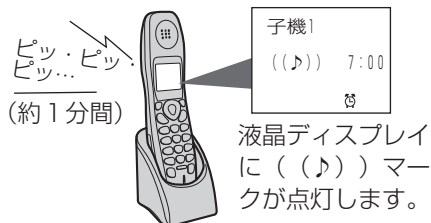
7 機能 **を押す**

池田 悟
登録しました
残り：92

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

お知らせ
● 親機の再ダイヤルの記憶を子機の電話帳に登録することはできません。

アラームを使う（子機）

子機で、アラームを設定することができます。アラーム音をメロディーに変えることもできます。

アラームを設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 ▲または▼で「アラーム」を選んだあと、▶電話帳を押す**

▶アラーム時刻
アラーム設定
アラーム音色
◀戻る　選択▶

3 ▲または▼で「アラーム時刻」を選んだあと、▶電話帳を押す**

アラーム時刻
00:00
[機能] 決定

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で４ケタ入力します）

アラーム時刻
07:00
[機能] 決定

●すでに設定している時刻を変更するときは、▶または◀で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 機能 **を押す**

アラーム　07:00
設定しました

●⏰マークが表示されます。

■ アラームの音を途中で止めるときは

アラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、止まります。（クイック通話をしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）

■ アラームを解除／もう一度設定する時は

① 機能ボタンを押す
② ▲または▼で「アラーム」を選んだあと、▶を押す
③ ▲または▼で「アラーム設定」を選んだあと、▶を押す
④ ▲または▼で「解除」または「設定」を選ぶ
⑤ 機能ボタンを押す

アラーム音を選ぶ

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 または で「アラーム」を選んだあと、 電話帳 **を押す**

▶アラーム時刻
アラーム設定
アラーム音色
◀戻る　選択▶

3 または で「アラーム音色」を選んだあと、 電話帳**を押す**

▶通常アラーム
メロディ

［機能］決定

4 または でアラーム音（通常アラームまたはメロディ）を選んだあと、機能 **を押す**

アラーム音色
メロディ
にしました

●アラーム音は次の 2 種類の中から選ぶことができます。

通常アラーム	ピッピッピッ…
メロディ	オリジナルメロディ

お知らせ

● 子機の時刻が正しく合っていないと、アラーム設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから、アラームを設定してください。
● アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。

子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録・設定をすることができます。

子機で設定します

途中でやめるとき
切ボタンを押す

工場出荷時は　　　に設定されています。

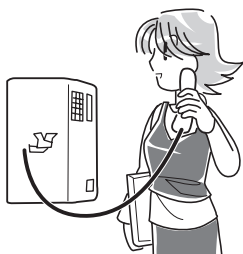
設定項目／はたらき	登録の操作手順
使用者表示 子機の待機画面に、使う人の名前を表示することができます。また、子機を置く場所などを登録して利用することもできます。 名前を登録すると、待機画面に表示します。 （例）子機1 悟 1:40 登録した名前を変更するときは、もう一度登録し直します。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ 機能 ▶ または で「**システム設定**」を選ぶ ▶ 電話帳 ▶ または で「**使用者表示**」を選ぶ ▶ 電話帳 ▶ ダイヤルボタンで名前を入力する（全角 6 文字、半角12文字）（ P.1-42～1-44）使用者表示を消すときはクリアボタンを押して登録されているすべての文字を消します。 ▶ 機能
登録初期化 子機の登録内容をすべて消して工場出荷時の状態に戻すことができます。 子機の登録内容をすべて消して工場出荷時の状態に戻します。（子機の電話帳に登録した内容などすべての登録内容が消えて工場出荷時の状態に戻ります。）	通話ボタンを消灯した状態で ▶ 機能 ▶ または で「**システム設定**」を選ぶ ▶ 電話帳 ▶ または で「**登録初期化**」を選ぶ ▶ 電話帳 （初期化する？ ［機能］決定） ▶ 機能
クイック通話（着信のときのみ） 子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。 ・**設定** 着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。 ・**解除** 子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ 機能 ▶ または で「**お好み設定**」を選ぶ ▶ 電話帳 ▶ または で「**クイック通話**」を選ぶ ▶ 電話帳 ▶ または で「**解除**」または「**設定**」を選ぶ ▶ 機能

途中でやめるとき
切ボタンを押す

工場出荷時は　　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
キータッチ音出力 子機のボタンを押したときに、「ピッ」音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**設定** 子機のボタンを押したときに「ピッ」音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**解除** 「ピッ」音（キータッチトーン）は鳴りません。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ ▶ または で「**お好み設定**」を選ぶ ▶ ▶ または で「**キータッチ音出力**」を選ぶ ▶ ▶ または で「**解除**」または「**設定**」を選ぶ ▶
待ち受け時間 充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。 ・**標準** 待ち受け時間は約200時間になります。 ・**長時間** 待ち受け時間は約240時間になります。（「長時間」にすると「標準」のときよりも子機の呼出音が遅れて鳴ることがあります。） 待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり呼出音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ ▶ または で「**お好み設定**」を選ぶ ▶ ▶ または で「**待ち受け時間**」を選ぶ ▶ ▶ または で「**標準**」または「**長時間**」を選ぶ ▶
液晶ディスプレイ（LCD）のコントラスト調整 ディスプレイのコントラストを調整できます。 ・**▲濃く** コントラストを濃くします。 ・**▼薄く** コントラストを薄くします。 ディスプレイの表示の濃さを16段階で調整できます。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ ▶ または で「**お好み設定**」を選ぶ ▶ ▶ または で「**LCDコントラスト**」を選ぶ ▶ ▶ または で調節する ▶

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

暗証番号を登録する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す

登録
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 または で「詳細設定」を選び、決定 を押す

詳細設定
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質 取消

3 または で「留守録」を選び、決定 を押す

留守録
1 暗証番号
2 お声拝聴
画質 取消

4 「暗証番号」を選び、決定 を押す

暗証番号
1 登録
2 クリア
画質 取消

5 「登録」を選び、決定 を押す

暗証番号
No.　:　　(4桁)
4桁セットください
画質 取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

●番号を押しまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

■ 登録した暗証番号を消すときは

① 左記の手順 5 で「クリア」を選ぶ

② を 2 回押す

③ 停止 を押す

■ 暗証番号を変えるときは

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ 暗証番号を忘れたときは

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。録音内容は消えません。

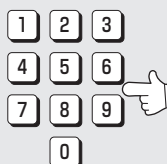
外出先から一般録音をリモート操作する

1 **自宅に電話をかける**

●ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

2 **応答メッセージが聞こえている間に**
[#] を押す

●[#]を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度[#]を押してください。

3 **暗証番号（4ケタ）を押す**

4 **[#] を押す**

5 音声メッセージを聞いたあと
リモート操作番号を押す

（例）録音内容を聞くときは、
[1][#] と押します。

6 リモート操作が終わったら
電話を切る

■ リモート操作表

操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）→（早聞きへ戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の1件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません）	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

■ 暗証番号を押すときは

- 10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」音が聞こえます。手順3からやり直してください。
- 番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直します。（2回まちがえると電話は切れます。）

■ 一般録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

●留守設定しているとき

留守設定（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

●留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

■ トールセーバーとは

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、呼出音が2回（新しい録音がないときは5回）で留守応答します。（留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。P.6-3）

■ トールセーバー機能の使いかた

呼出音が2回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。3回目の呼出音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

お知らせ

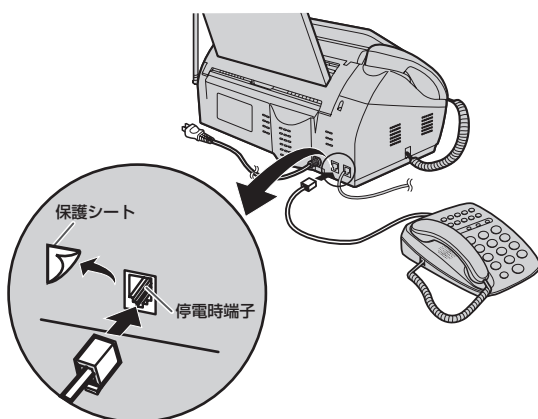
- 外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」をご利用ください。（P.11-29～11-30）
- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- 操作は1分以内に行ってください。（1分以上あけると電話が切れます。）
- ファクシミリが在宅モードで「在宅時コール回数」を「無制限呼出」のときはリモート操作できません。

電話機を増設する

お手持ちの電話機を停電時端子に接続することができます。
停電時端子に接続される電話機は停電のときに使えるように、電源を使わない電話機を接続することをおすすめします。

増設電話を接続する

1 停電時端子に接続する

●保護シートをはがし、電話機の接続コードを、本体の停電時端子（左側の端子部）に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

増設電話機で電話をかける

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら**ダイヤルする**

●通話が終わったら受話器を戻します。

増設電話機で電話を受ける

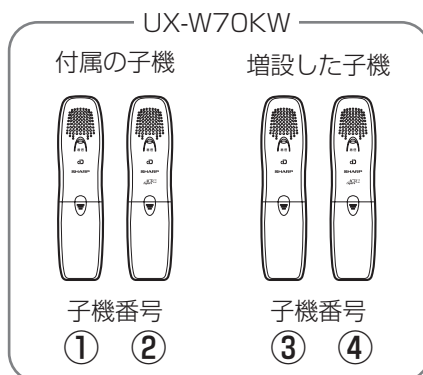
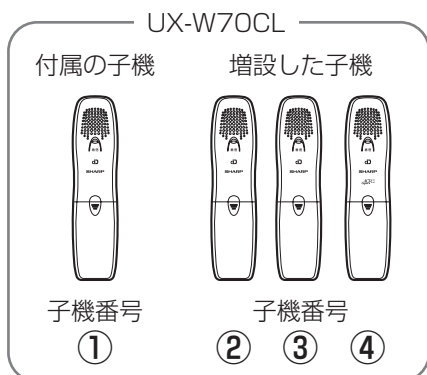
1 呼出音が鳴ったら**受話器を取ってお話しする**

●通話が終わったら受話器を戻します。

お知らせ

- ファクシミリ本体と増設電話機との間で、内線通話はできません。
- 停電時端子には、電話機を1台しか接続できません。また、コードレス電話機は接続できません。
- 増設した電話機で受けたあとファクスに切り換えることはできません。
- 電話機の種類（留守番電話やホームテレホンなど）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなるものがあります。
- ナンバー・ディスプレイ対応の増設電話機を接続するときは、増設電話機側のナンバー・ディスプレイ機能を働かないように設定してください。誤動作の原因になります。

子機を増設する（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

- 子機は、付属の子機以外に 3 台まで、UX-W70KWは 2 台まで増設することができます。

UX-W70CLは、子機を増設しても子機間通話はできません

- 増設できる子機はCJ-KS7、CJ-KS5、CJ-KS3、CJ-KS2、CJ-KS1、CJ-KV75です。また、BS／CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。
- 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をご覧ください。（増設登録手順タイプAと記載されています。）
- 子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-W70CL/KWに増設した場合の機能比較

機能名 ＼ 機種名		付属の子機	UX-KF3	CJ-KS7	CJ-KS5	CJ-KS3	CJ-KS2	CJ-KS1	CJ-KV75	この取扱説明書の参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	×※1	×※1	×※1	3-19
	再ダイヤル	○（10件）	○（10件）	○（10件）	○（10件）	○（3件）	○	○	○	3-29
	ダイヤルボタン点灯	○	○	○	○	×	○	○	○	——
	優先呼出	○	○	○	○	○	×	×	×	3-10
	アラーム	○	○	○	○	○	×	×	×	7-6
	子機間ひと声通知（UX-W70CLのみ）※2	○	○	○	○	○	○	○	○	7-16
	子機間通話（UX-W70KWのみ）	○	○	○	○	○	○	○	○	3-35
	受話音量切換	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	大・標準	大・標準	大・標準	1-27
	スピーカーホン通話	○	○	○	○	×	×	×	×	3-5、3-9
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	○	×	×	×	9-2
	着信記録	○	○	○	○	○	×	×	×	9-7
	着信鳴り分け	○	○	○	○	○	×	×	×	9-18

※1　短縮ダイヤルとして、10件まで記憶させることができます。
※2　UX-W70CLに子機を増設したとき。

お知らせ

- UX-W70KWをご利用時は子機間通話ができます。

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

UX-W70CLをご利用時に子機を増設すると、子機から子機へメッセージを伝えることができます。

子機から子機へメッセージを伝える

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 子 機

子機を充電器から取って

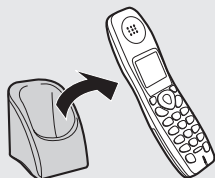
内線/クリア 保留 **を押す**

2 子 機

子機の内線番号を押す

●通話ボタンが点滅します。
●他の子機の方が電話に出るまで「ププププ・・・・」と鳴ります。

3 他の子機

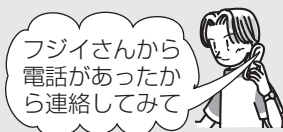
呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」しているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点滅します。

4 子 機

他の子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

●他の子機の声は聞こえません。

5 他の子機

メッセージが聞こえる

6 子 機

メッセージを話し終わったら

切 **を押す**

●この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

子機から子機へ転送する（ひと声転送）

UX-W70CLに子機を増設してお使いの時は、子機にかかってきた電話を他の子機へ転送し、ひと声だけメッセージを伝えることができます。

子機から他の子機へ転送する(ひと声転送)(子機を増設したとき)

1

子機で通話中に

を押す

2 子 機

子機の内線番号を押す

●相手の方には保留メロディが流れます。
●他の子機の方が電話に出るまで「ププププ・・・・」と鳴ります。

3 他の子機

呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」しているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。

4 子 機

電話を転送することを伝えて（約10秒以内に）
子機を充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
●他の子機の声はこちら側には聞こえません。
●この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

5

保留メロディが聞こえたら、

を押す

または

を押す

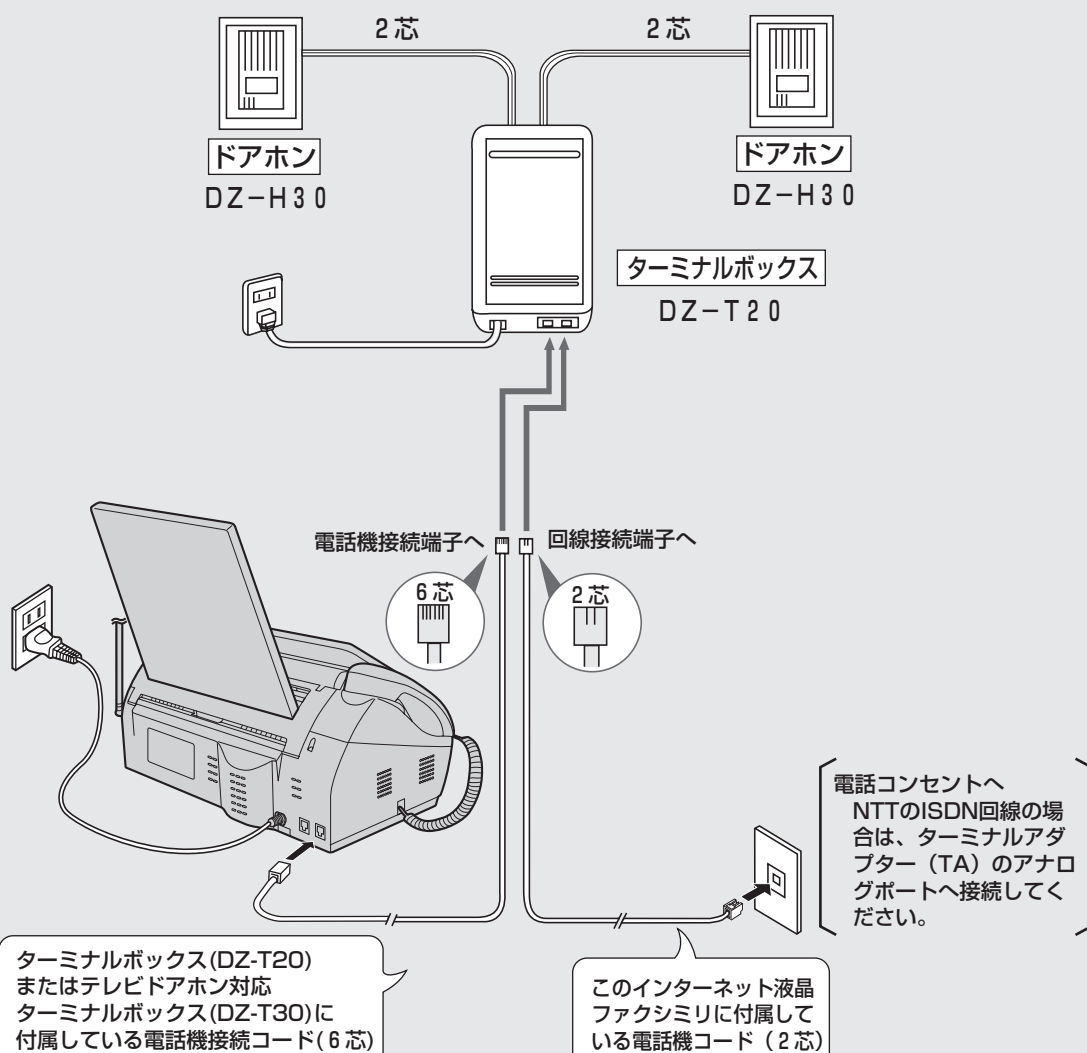
●外の相手の方と通話できます。

■ **他の子機が出ないときは**

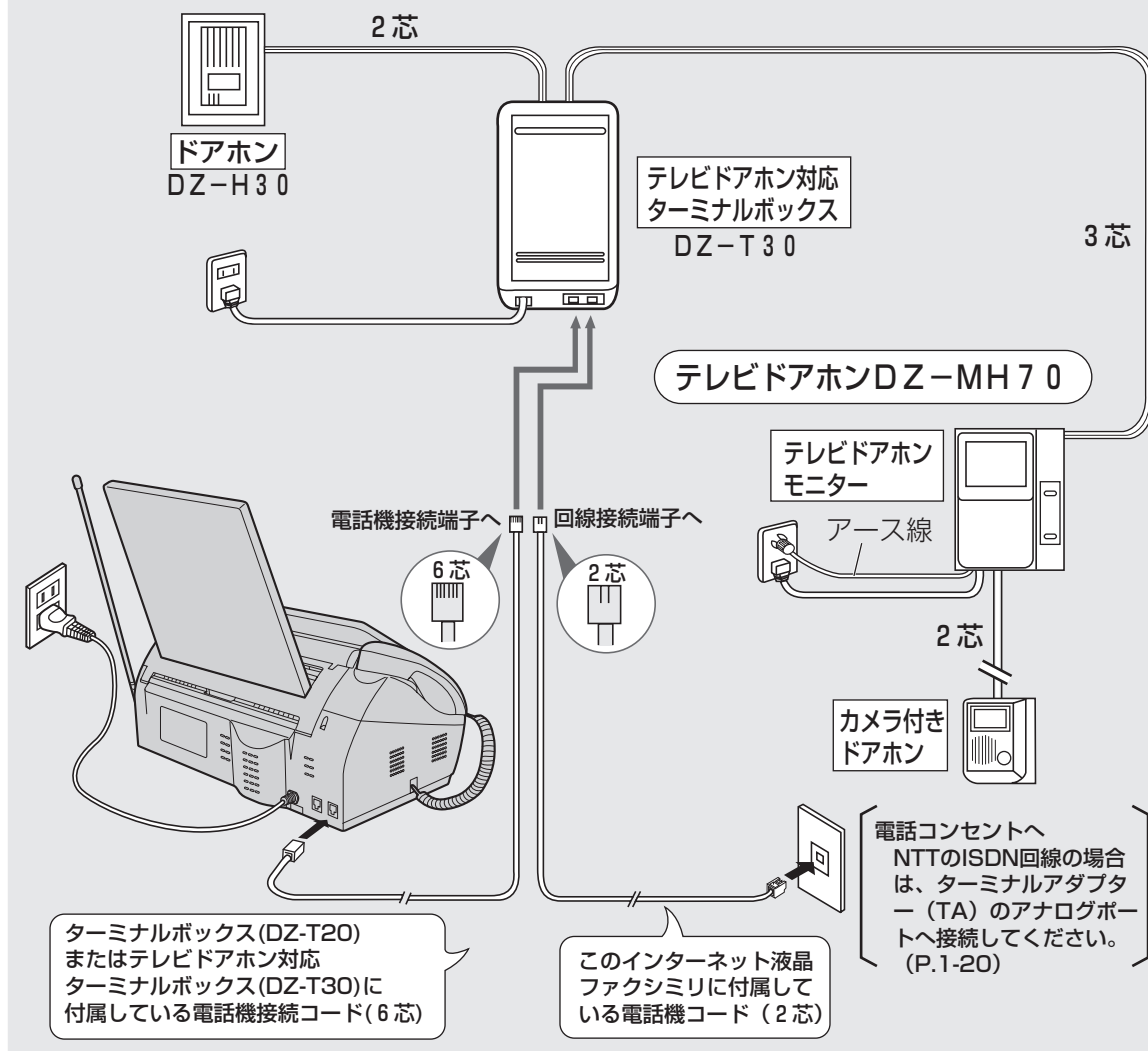
保留ボタンを押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと保留ボタンまたは通話ボタンを押すと外の相手の方との通話に戻ります。

ドアホンを接続する

別売りのターミナルボックス（専用）やドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンをつなぐとき

お知らせ

- テレビドアホンユニットは、DZ-MH70, DZ-MH50, DZ-MH30が接続できます。
- テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。
- 現在お使いのドアホンが次の機種のときは、専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。）
- 増設電話機が接続されていても増設電話機では、お話しすることはできません。（呼出音も鳴りません。）

カメラ付ドアホンをつなぐとき

2001年10月現在

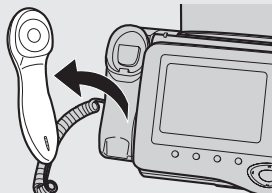
メーカー名（50音順）	適合するドアホン（室外機の機種名）
アイホン	IF-DA　IE-DA　IE-DC　IE-NC　IE-RA　IE-TAS　IE-JA　IE-CA　IF-DAW　IE-NXS　IE-NXBA　IE-NXM　IE-NXY　IE-NXC
岩通	ドアホンN
NTT	E-104DH　E-ドアホンS　E-ドアホンD　E-ドアホンPL　E-VXドアホン
パイオニア	TF-DR2
富士通	FC-201A　FC-201B　FC-201C　FC-201D
松下通信工業	VF-521　VF-522　VF-523U　VF-523D　VL-568　VL-568G　VL-568U　VL-568K　VL-568KA　VL-568D　VL-568R　VL-568S　VL-568KAP　VL-568GL　VL-568UL　VL-569　VL-580D　VL-582A　VL-584D　VL-585D　VL-586P　VL-587P　VL-592　VL-593　VL-594A
松下電工	EJ-502　EJ-501W　EJ-102　EJ-503F　EJ-503A　EJ-106A　EJ-106S　EJ-1021B

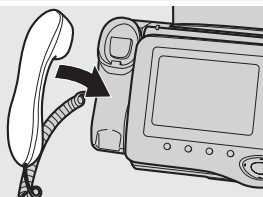
※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

親機で話すときは

1 呼出音が「ピンポン」と鳴ったらディスプレイに「ドアホン着信 1」または、「ドアホン着信 2」と表示している間（30秒以内）に
受話器を取って通話する

●親機のスピーカーホンボタンを押してもドアホン通話することはできません。

2 通話が終わったら
受話器を戻す

子機で話すときは

1 呼出音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に

を押す

●通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら

を押す

■ **ドアホンの呼出音について**

ドアホン 1 とドアホン 2 からの呼出音は鳴り方が違います。

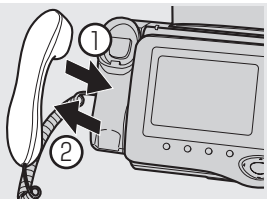
親機	ドアホン 1	ピン ポン
	ドアホン 2	ピン ポン ピン ポン
子機	ドアホン 1	ピロピロピロピロ　ピロピロピロピロ
	ドアホン 2	ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ

お知らせ

- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中や増設電話機で通話中のときは、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の呼出音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。また、親機の呼出音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ドアホンの呼出音が「ピンポン」と鳴ったあと約30秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。

親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら
一度受話器を戻してから、受話器を取る

- 受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。
- 受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
内線/保留 ○ **を押す**

- 通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは
内線/保留 ○ **を押す**

- 電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

親機でドアホン通話中にもう１台のドアホンから呼び出しがあると

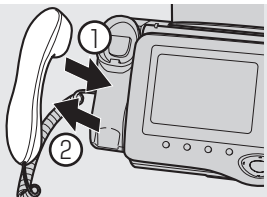
ドアホン通話中の通話をやめて、もう１台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と１回聞こえたときは
(1) **を押す**
ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて２回聞こえたときは
(2) **を押す**

- **(1) または (2)（またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
一度受話器を戻してから、受話器を取る

- 受話器を戻すと、内線通話が切れます。
- 受話器を取ると、ドアホン通話になります。

子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら

（切）**を押して、**（通話）**を押す**

●切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れます。
●通話ボタンをを押すと、かかってきた電話との通話になります。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

（内線/クリア 保留）**を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

（内線/クリア 保留）**を 2 回押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

子機でドアホン通話中にもう 1 台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう 1 台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と 1 回聞こえたときは

（1 あ @.:-_）**を押す**

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて 2 回聞こえたときは

（2 か ABC）**を押す**

● **（1 あ @.:-_）または（2 か ABC）（またはキャッチボタン）を押すごとに、2 台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

（切）**を押して、子機にドアホンの呼出音が聞こえたら**（通話）**を押す**

●切ボタンを押すと、内線通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、ドアホン通話になります。

プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線をお使いの場合でもトーンボタンを押すと、プッシュ回線と同じトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出すことができますので、交通機関の予約や銀行の残高照合などのプッシュホンサービスを利用できます。

プッシュホンサービスを使う（ダイヤル回線ご利用時）

1 親機 **受話器を取る** **または** 子機 通話 **を押す**

- ●受話器を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
- ●子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 親機 トーン ⏮ **を押す** **または** 子機 トーン **を押す**

- ●このあとアナウンスにしたがって操作します。
- ●これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- ●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。
ダイヤル回線でご契約されている方でも、トーンボタンを押すと、このトーン信号を出すことができます。

お知らせ

- ● サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
- ● 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。

キャッチホンサービスを利用する

キャッチホンサービスを利用するには、NTTとの契約が必要です。

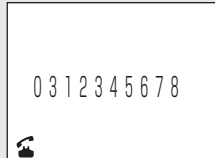
親機でキャッチホンサービスを使う

1 通話中に呼出音が聞こえたら キャッチ/消去 L 回線断 **を押す**

2 もとの通話に戻るときは もう一度 キャッチ/消去 L 回線断 **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイサービス（P.9-24〜9-27）を契約しているときは、相手の方の電話番号と名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

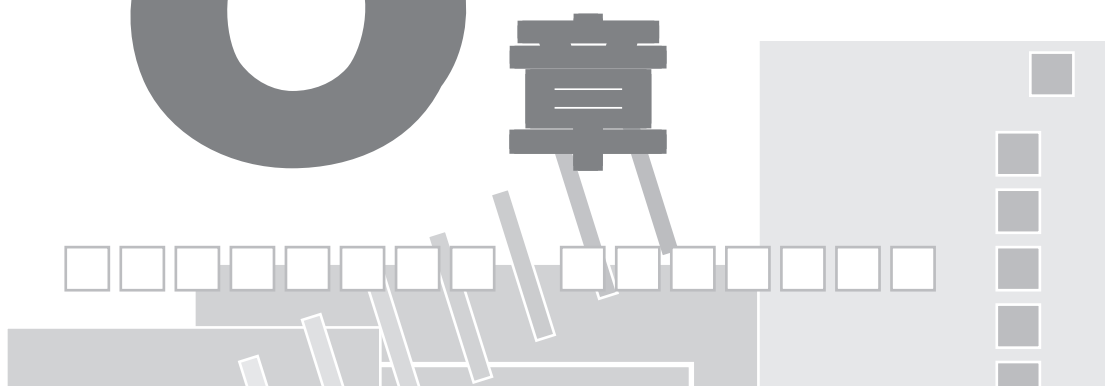
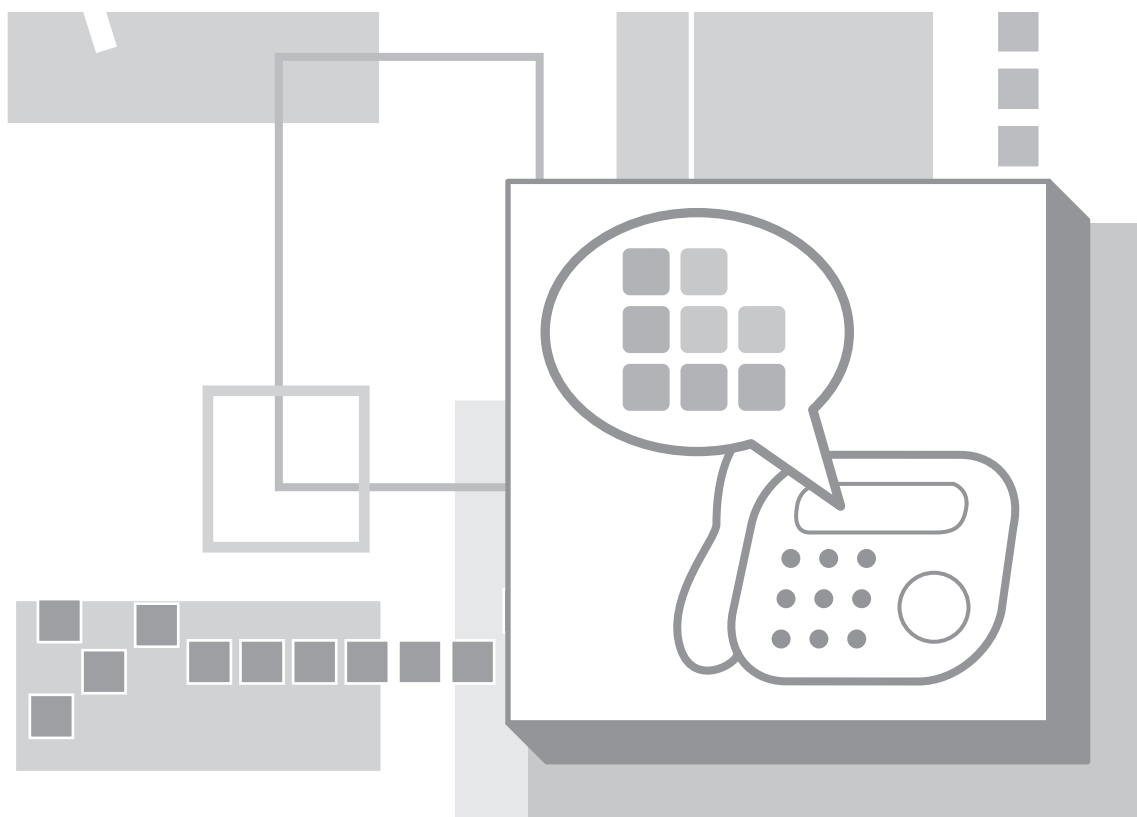
子機でキャッチホンサービスを使う

1 通話中に呼出音が聞こえたら 文字切替/キャッチ **を押す**

2 もとの通話に戻るときは もう一度 文字切替/キャッチ **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイサービス（P.9-24〜9-27）を契約しているときは、相手の方の電話番号と名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

お知らせ

- キャッチホンサービスをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すと「電話番号？」と表示されて、キャッチボタンや保留ボタンが使えなくなります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、スタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡサービスを利用すると、受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイサービスを契約すると、呼出音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（P.9-24〜9-27）

8章

Lモード

Ｌモードサービスについて

Ｌモードって何？

Ｌモードは、Ｌモード対応の電話機やファクシミリを使って情報検索やメールの送受信をご利用いただけるサービスです。このサービスをご利用いただくには、NTTと利用契約をする必要があります。

Ｌモードサービスのしくみ

Ｌモード利用者

情報検索（ブラウザ）サービス（P.8-47～8-73）

インターネット
タイトル
タウン情報
OK
クリア

メールサービス（P.8-7～8-46）

メモリー受信
12/30(日)
2:45pm
0件
0件
0件
メッセージ あり 2
画質 機能選択 受信FAX一覧 登録

情報検索（ブラウザ）サービス

情報サービスの利用をはじめ銀行の残高照会、振込やタウンページの電話番号検索などができます。

メールサービス

「Ｌモード」の利用者同士だけでなく、インターネットを経由してパソコンや携帯電話とe-mail（電子メール）の送受信ができます。
注）e-mailからの添付ファイルを受信することはできません。

アクセスポイント
Ｌモードゲートウェイ
専用線
ISP※
インターネット
※　ISP：インターネットサービスプロバイダ

コンテンツ・プロバイダ
コンテンツサーバ
コンテンツサーバ
Ｌメニューで検索
※有料情報も提供可

メール利用者
Eメール・携帯電話メール利用者

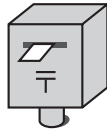
Ｌモードを利用するには？

1 NTTへ申し込みをする。

利用される場合は必ずNTTへ利用契約を行ってください。

付属の「Ｌモードサービス申込書」に必要事項を記入します。

切手を貼らずにポストへ投函。

数日後、Ｌモードの使用説明書が届けられます。（申し込み完了）

Ｌモードの利用開始日は、登録手続きが必要なためNTTが申込書を受領した数日後からとなります。ご利用開始日などの詳細は**局番なしの116番まで**お問い合わせください。

2 初期設定をする。

はじめて利用されるときは、まず初めにアクセスポイント電話番号（発番号）の設定をします。（P.8-4）

携帯電話のモバイルカメラで撮った画像も見られます！

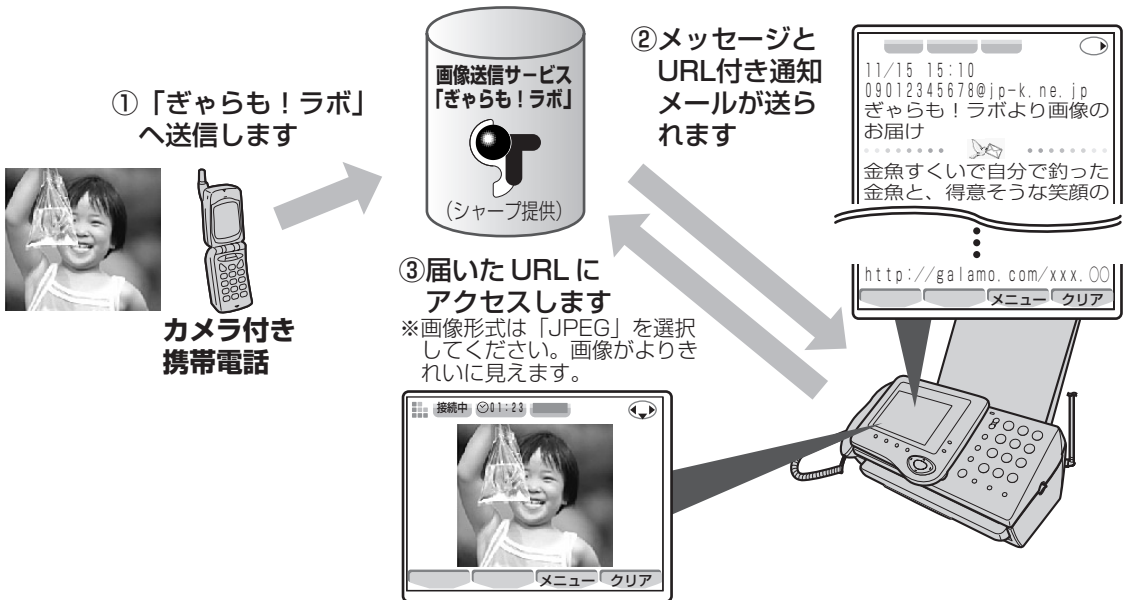
シャープは、J-フォンの携帯電話向けに「Space Town for J」を提供しています。
この「Space Town for J」の画像送信サービス「ぎゃらも！　ラボ」を使うと、携帯電話のモバイルカメラで撮影した写真をＬモードを経由して見ることができます。

※ご利用できる携帯電話は、J-フォンのJ-SH04/06/07です。（2001年9月現在）
※携帯電話で「ぎゃらも！　ラボ」サービスをご利用になるには、会員登録が必要です。
基本料金、利用料は無料です。ただし、通信料などはご利用者の負担となります。ご了承ください。
※ファクスで画像を見るための会員登録は必要ありませんが、別途通信料金がかかりますのでご了承ください。

①「ぎゃらも！ラボ」へ送信します

カメラ付き携帯電話

②メッセージとURL付き通知メールが送られます

③届いたURLにアクセスします
※画像形式は「JPEG」を選択してください。画像がよりきれいに見えます。

Ｌモードの利用料金は？

月額使用料…Ｌモードサービスへ申し込みをされ、利用契約をされると月額使用料がかかります。

通　信　料…「Ｌモード」へ接続中は通信料がかかります。（接続中は、画面にマークが表示され、「Ｌモード接続中」ランプが点灯しています。）

Ｌモードサービスの詳しいお問い合わせは
局番なしの　**116**番へ

アドバイス！

※「切り忘れ防止タイマー」（P.8-75）
この機能は、「Ｌモード」へ接続中に何も操作しなかった時、自動的に「Ｌモード」の接続を切断する機能です。
「Ｌモード」の接続を切り忘れて、通信料金がかかるのを防ぎます。
ご購入時は、「３分」に設定されています。

※通信料金をかけずにサイト（番組）のページを見る
インターネットなどで見たいサイト（番組）のページを表示している時に キャッチ/消去 Ｌ回線断 を押すと、表示しているページは、そのままで「Ｌモード」の接続を切断することができます。
通信料金をかけずにページを見るときに便利です。

お知らせ

● PBX（構内交換機）、ホームテレホンなど発信先の電話番号の先頭に0をつける必要がある通信機器を接続した場合は、Ｌモードサービスをご利用いただけません。
※ 本製品のインターネット機能は株式会社 ACCESS の Compact NetFront® を搭載しています。

Compact NetFront は株式会社 ACCESS の日本国における登録商標です。
※ 米国特許第4,558,302号および対応外国特許に基づくライセンスを取得しております。
※ この製品には、当社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。

はじめてＬモードサービスを利用する

Ｌモードサービスをはじめてご利用になる場合、設定センターからアクセスポイント電話番号（センター番号）を取得し、ファクス本体に登録するための操作を行います。（端末機器自動設定）

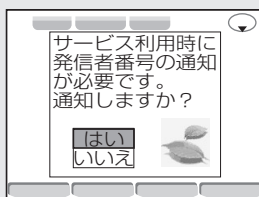
Ｌモードサービスの利用設定をする

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

1 （/決定）を押す

サービス利用時に
発信者番号の通知
が必要です。
通知しますか？
はい
いいえ

2 「はい」を選び、（/決定）を押す

- 「いいえ」を選択し、（/決定）を押すと「サービスのご利用には発信者番号の通知が必要です。」が表示されます。「Ｌモード」をご利用になるときは、「はい」が選択されていることを確認し、（/決定）を押してください。
- 自動的に設定センタへ接続され、アクセスポイント電話番号（センター番号）を取得します。

3 「サービスの利用に必要な情報のダウンロードが終了しました。」と表示されたら（/決定）を押す

- アクセスポイント電話番号（センター番号）のファクス本体への登録が終了します。

4 「Ｌトップメニュー」が表示される

- Ｌモードのサービスをご利用いただけます。（▲）または（▼）で項目を選んでください。

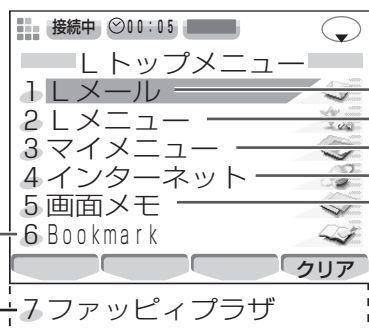
5 停止（◎）または クリア ○ を押すと、待機画面に戻る

■ 「センターとの接続に失敗しました。」と表示されたときは

端末機器自動設定がうまく設定できませんでした。もう一度操作をやり直してください。または、登録メニューから設定することもできます。
（「端末機器自動設定」P.8-74）
また、Ｌモードサービスを契約していないときも表示されます。

■ 「Ｌモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

Ｌモードのトップメニュー

Ｌメール
メールの作成や送受信ができます。

Ｌメニュー
生活に役立つ情報が取り出せます。

マイメニュー
お気に入りの番組をマイメニューに登録しておくと、すぐに表示させることができます。

インターネット
ホームページのアドレスを入力するとインターネット上のホームページを見ることができます。

画面メモ
表示させた画面を保存することができます。

Bookmark
インターネットのアドレスを登録しておくとすぐに表示することができます。

ファッピィプラザ
シャープスペースタウンの案内を表示します 。

用語について

ゲートウェイ：
異なるプロトコルを持つネットワークを相互に接続するための、ハードウェアやソフトウェアのこと。

コンテンツ：
コンピュータで、画像、動画、音声、文章などを組み合わせて、一つの作品として仕上げたもの。

サイト：
サーバが設置された場所のこと。おもにインターネット上のサーバに対して使う。

ダウンロード：
他のコンピュータ上にあるデータを、ネットワークを通じて自分の端末側にコピーすること。

センター：
メールの送受信やブラウザページの閲覧をするために、回線を接続するところ。

タグ：
ファイルの中の特定の場所につけられた印のこと。そのタグを指定することで、その場所へ簡単に移動できる。

Bookmark「ブックマーク」：
wwwなどのオンラインドキュメントにおいて、特定のページ位置を記録したもの。

URL「ユーアールエル」：
Uniform Resource Locator の略。www で使われる、インターネット上の情報にアクセスする方法を示す表記。（インターネットのURLのことをアドレスと呼ぶこともある）
「http://www.○○○.co.jp/△△△/」というように、「プロトコル：//サーバ名/パス名」と記述される。

お知らせ

- ファクス本体の電源がOFFになったり停電などで電源が切れるとアクセスポイント電話番号（センタ番号）が消去されます。もう一度操作をして登録し直してください。
- 端末機器自動設定中に、電話やファクスは使用できません。

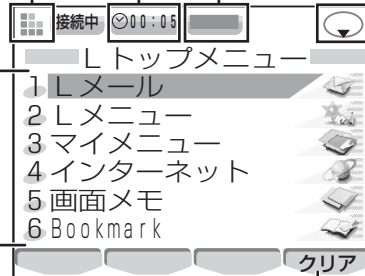
Ｌモード利用時のディスプレイ表示

「Ｌモード」利用時は液晶ディスプレイに次の様に表示されます。各メニューやページ等で表示される内容が変わります。

（ブラウザマーク）
「Ｌモード」へ接続している間、表示または点滅しています。
表示中は通信料金がかかります。
「Ｌモード」の接続が切れると（ブラウザマーク）は消えます。

「Ｌモード」を終了するときは
停止 を押します。

表示はそのままで「Ｌモード」の接続を切断するときは
キャッチ/消去 Ｌ回線断 を押します。

メニュー
メニューの項目が表示されます。選ばれている項目が（オレンジ色）のカーソルで表示されます。
項目を表示するには ▲ または ▼ で項目を選んで #/決定 を押します。
ただし、一部ご利用になれないサイトがあります。

00:05
接続時間の目安を分単位で表示します。

画面の読み込みが終わるまでの目安を目盛りで表示します。

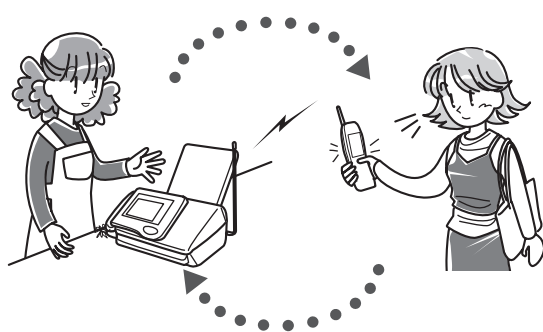
方向表示
サイトを表示しているときや文字入力モードのときに、ページやカーソルの移動が可能な方向が表示されます。
（上下）は、画面がスクロールできる方向や選べる項目がある方向を表示します。▲ または ▼ を押して操作してください。
（左右）は、1つ前のページに戻る、または1つ先のページに進むことができるときに表示されます。1つ前に戻るときは ◀ を、1つ先に進むときは ▶ を押してください。

クリア
クリア が表示されているときに、クリア を押すと次のように動作します。
- ブラウザサービスを使用しているときは、Ｌトップメニューが表示されます。
- Ｌメールの操作をしているときは、1つ前の画面が表示されます。

お知らせ

- コンテンツによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- コンテンツ提供者のサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 「Ｌモード」対応のページとは、「Ｌモード」対応したタグ（ファイル中の特定の場所につけられた印）などで作成されたものです。文字のみのページや、画像（GIF、JPEG形式のみ）も表示できます。
- Ｌトップメニューを表示しているとき、「Ｌモード」と回線が接続されている場合もあります。回線が接続されている場合は、ブラウザマークが表示されています。
- この取扱説明書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状が異なる場合があります。

Ｌメールについて

Ｌモードの利用者同士だけでなく、パソコンや携帯電話をお使いの方とも、メールのやりとりができます。

下記の設定については、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」をご覧ください

● **パスワード設定**
　Ｌメールやサイトによっては、パスワードが必要になります。

● **マイアドレス設定**
　Lメールのメールアドレスは、ご契約時は「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」となっています。

● **メール転送設定**
　メールの転送機能の設定と、その際の転送先アドレスを登録することができます。

● **着信お断りメール設定**
　受信したくない相手の方からのメールに対して、こちら側では受信を拒否していることを伝えるメールを自動的に返信することができます。あらかじめメールを受信したくない相手の方のメールアドレスを登録しておくことが必要です。これにより不要なメールの受信を避けることができます。

● **メールグループ設定**
　同じ内容のメールを複数の相手（グループ）に送るとき便利な機能です。メールグループは10件まで設定でき、各メールグループには49件までの送信先アドレスを登録できます。

■ **メールが届いたとき**

「Lモード」に新着メールが届いたら、ファクス本体のディスプレイにメッセージを表示してお知らせします（メッセージ有り通知（P.8-22））。新着メールは「Lモード」に一時保管されています。保管された新着メールは、「メールを受信して表示する」（P.8-23）を行いファクス本体に受信します。

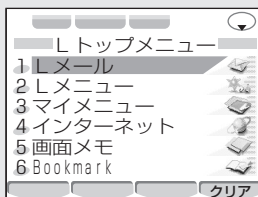
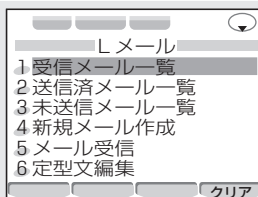
- 「Lモード」での新着メール保管件数は最大約200件、保管期間は14日間です。14日間を超えた新着メールは自動的に削除されます。
- ファクス本体でメールを受信すると「Lモード」に保管されていた新着メールは削除されます。受信したメールはファクス本体に受信メールとして保存されます。

お知らせ

- Lメールでは、e-mailからの添付ファイルを受信することはできません。

メールを送信する

新規にメールを作成するには、「宛先」「題名」「本文」を入力します。作成したメールは、「Lモード」利用者やインターネットを経由して、e-mailをお使いの方へ送信できます。

メールを送信する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 /決定を押す

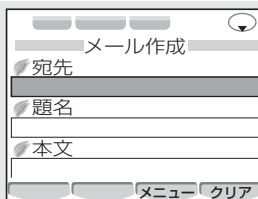
Lトップメニュー
1 Lメール
2 Lメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

●Lトップメニューが表示されます。

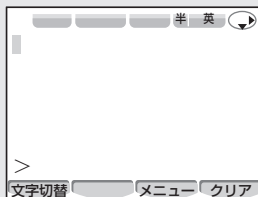
2 または で「Lメール」を選び、/決定を押す

Lメール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

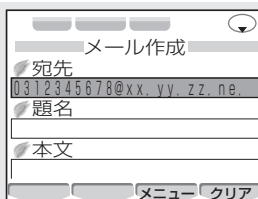
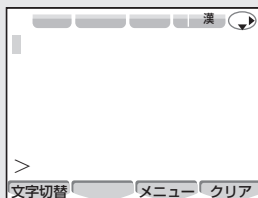
3 または で「新規メール作成」を選び、/決定を押す

メール作成
宛先
題名
本文
メニュー クリア

●「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（P.8-40〜8-41.8-45）
送信済メールと未送信メールは、合わせて30件まで保存できます。

4 宛先のテキストボックスを選び、/決定を押す

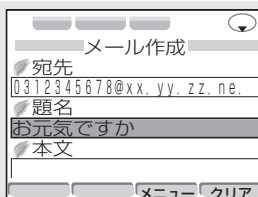
半 英
>
文字切替 メニュー クリア

●文字の入力画面になります。

5 宛先を入力し、/決定を押す（宛先は、1件しか入力できません）

メール作成
宛先
0312345678@xx.yy.zz.ne.
題名
本文
メニュー クリア

●「Lモード利用時に文字を入力する」（P.8-13〜8-15）を参照してください。半角で50文字分まで入力できます。改行はできません。
スペースは使用しないでください。
●文字の入力モードが半[英]のとき （＊）を押すとよく利用する定型文が表示されます。
●電話帳から宛先を検索するときは（P.8-16）

6 で題名のテキストボックスを選び、/決定を押す

漢
>
文字切替 メニュー クリア

7 題名を入力し、/決定を押す

メール作成
宛先
0312345678@xx.yy.zz.ne.
題名
お元気ですか
本文
メニュー クリア

●「Lモード利用時に文字を入力する」（P.8-13〜8-15）を参照してください。全角30文字分（半角60文字）まで入力できます。改行はできません。

次ページへ→

→つづき

● 「Ｌモード利用時に文字を入力する」（P.8-13～8-15）を参照してください。全角500文字（半角1000文字）まで入力できます。定型文（P.8-19）を挿入することができます。

● 「Ｌモード」に接続して、作成したメールを送信します。

● 「保存」を選んで、を押すと作成したメールが未送信メールとして保存されます。

●回線が切断され待機画面に戻ります。

お知らせ

- 宛先、題名、本文それぞれの入力可能桁数を超えた場合は、新たに文字を入力できなくなります。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 回線が接続されていない状態でメール作成中にかかってきた電話を受けることができます。文字を入力中は、通話を終了すると手順5・7・9の画面に戻ります。手順5・7・9の画面を表示していたときは、通話を終了すると待機画面に戻ります。その場合、入力していた内容は保存されません。
- メール送信中など回線が接続されているときは、電話やファクスを使用できません。
- 回線の状態によっては、「Ｌモード」と接続できない場合があります。「Ｌモード」と接続できなかった場合は、「センターとの接続に失敗しました。」と表示されます。
- 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

子機で送信メールを作成する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 機能を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 または で「メール」を選んだあと、電話帳を押す

▶受信ﾒｰﾙ一覧
送信ﾒｰﾙ一覧
新規ﾒｰﾙ作成
◀終了　選択▶

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。

3 または で「新規メール作成」を選んだあと、電話帳を押す

宛先？ 半［英］
▲▼：検索

4 宛先を入力し（最大半角50文字）（P.1-38、1-42～1-44）、機能を押す

●半[英]、または半[数]で入力します。
文字の入力モードが半[英]のときトーンを押すと宛先定型文を入れることができます。
●宛先リストに登録した宛先を使うときは、▲または▼で選んだあと、▶を押します。（あらかじめ宛先リストへの登録が必要です。P.8-17～8-18）（選んでいるときは宛先を12文字までしか表示しませんが、▶を押すと、すべての文字を表示します。）

5 件名（タイトル）を入力し（最大全角30文字、半角60文字）（P.1-38、1-42～1-44）、機能を押す

6 本文を入力し（最大全角125文字、半角250文字）（P.1-38、1-42～1-44）、機能を押す

▶保存
定型文挿入
再入力
［機能］決定

●本文作成中に、（改行）を押すと、改行することができます。ディスプレイ表示では改行されませんが（マーク表示のみ）、相手の方に送付される文書では改行されています。
（［漢］モードで入力中は文字を採用してから（改行）を押します。）
また、▼や▶を押してカーソルを移動させてから文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。
●作成したメールを修正するときは、このあと「再入力」を選び、機能ボタンを押して、手順４からやり直します。

次ページへ→

メールを送信する

Lモード

→つづき

7 **または** **で「保存」を選んだあと、** **機能** **を押す**

送信メール
保存しました

●<保存中>と表示したあと、左のディスプレイが表示されて、送信メール一覧にメールが保存されます。
●続けて送信メールを作成するときは、このあと、手順3から操作します。

8 **切** **を押す**

●待機画面に戻ります。

■ 「送信メールいっぱいです」と表示されたときは

すでに送信メールが30件保存されています。
不要な送信メールを消去してから作成してください。
（P.8-36）

■ 本文中に定型文を入れるときは

「子機で送信メールを作成する」の手順6のとき操作します。

① 入力した本文中の定型文を入れる箇所に ◀ または ▶ でカーソルを移動する
②機能ボタンを押す
③ ▲ または ▼ で「定型文挿入」を選んだあと、機能ボタンを押す
④ ▲ または ▼ で定型文を選んだあと、▶ を押す

定型文がカーソルの位置に入ります。①〜④をくり返して定型文をいくつも挿入することができます。

作成したメールを子機で送信する

1 機能 **を押す**

```
▶用件再生
 優先呼出
 着信音色
◀終了　選択▶
```

途中でやめるとき

切ボタンを押す

2 △ **または** ▽ **で「メール」を選んだあと、** ▷電話帳 **を押す**

```
▶受信メール一覧
 送信メール一覧
 新規メール作成
◀終了　選択▶
```

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。

3 △ **または** ▽ **で「メール送受信」を選んだあと、** ▷電話帳 **を押す**

4 機能 **を押す**

```
<<通信中>>
=✉
```

●送信メール一覧の未送信メールがすべて送信されます。

●メールを送信（メール送受信）すると、センターに受信メールがあるときは同時に受信されます。

お知らせ

● 送信メールを作成中に電話がかかってきたときや１分以上何もしなかったときは、待機画面に戻ります。このとき、作成中の送信メールは消えてしまいます。

Lモード利用時に文字を入力する

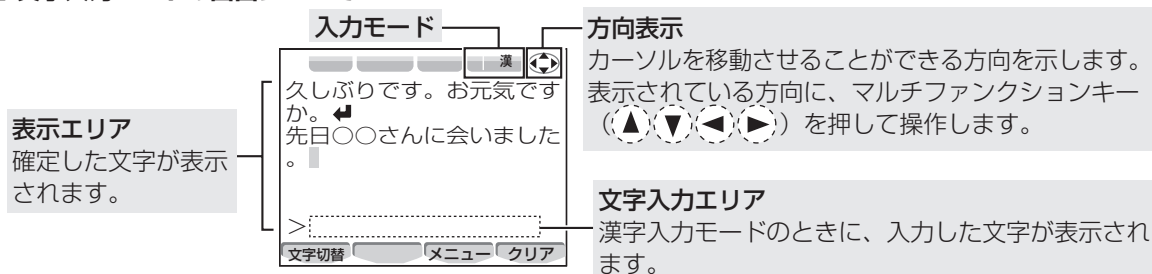
Lメールの宛先・題名・本文やサイト（番組）のページなどで漢字・カタカナ・英数字・絵文字などを入れることができます。

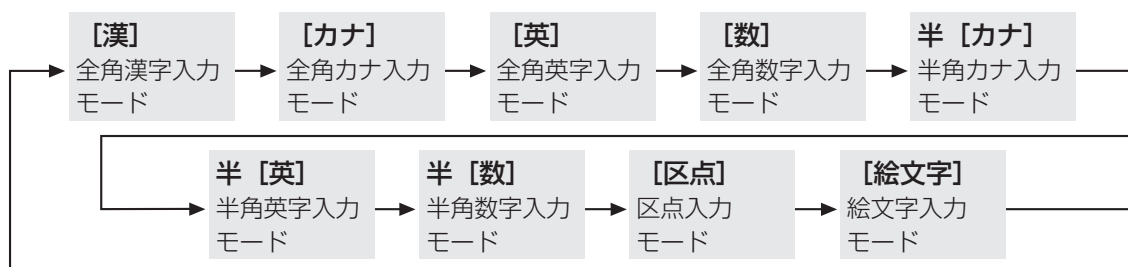
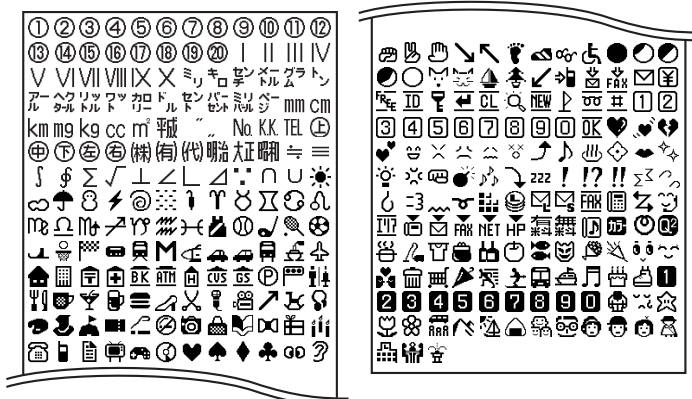
■ **送受信可能文字数**

Ｌメールで送信／受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字）の場合	半角文字（英字、数字、カタカナ）の場合
題　名	30文字	60文字
メールアドレス	25文字	50文字
本　文	500文字	1000文字

- 半角カタカナのメールを送信／受信した場合、正しく表示されない場合がありますので、「Ｌモード」利用者どうしでのメールのやりとり以外には半角カタカナを使用しないでください。
- 本文が全角500文字（半角1000文字）を超えるメールを受信した場合、全角500文字目（または半角1000文字目）からは自動的に削除されます。
- メールアドレスには、絵文字は使用できません。（文字には全角と半角がありますので、入力するときは間違えないように注意してください。）

■ **文字入力モードの画面について**

■ **入力モードの切替え**

文字切替 を押すごとに、入力モードが切り替わります。

■ **入力できる絵文字**

漢字入力モードで文字を入力する

1 ▲または▼で文字を入力する項目を選ぶ

2 決定を押す

3 ダイヤルボタンで文字を入力する

（例）「ひさ」と入力します。

4 ▼を押して漢字に変換する

5 変換したい漢字を選んで、決定を押す

6 手順3～5を繰り返し行って文章を入力する

7 文章の入力が終わったら、決定を押す

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

●選んだ項目は太線で表示されます。

●文字入力モードに切り替わります。

●変換しないときは、決定を押します。

●反転表示されている文字までが変換されます。

・◀または▶で変換したい文字の範囲を調整することができます。

・▼を押すごとに変換候補が表示されます。変換候補が表示されたあとは▲または▼で選ぶことができます。

●変換した文字が表示されます。

文字を削除するときは

①▲▼◀▶で削除したい文字にカーソルを合わせる。

②クリアボタンを押すと選択した文字が削除される。

・削除した後ろの文字が詰まります。

●文字入力モードが終了して手順1の画面に戻ります。

カナ・英字・数字モードで文字を入力する

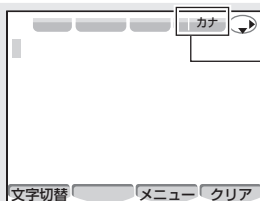
1 または で文字を入力する項目を選ぶ

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

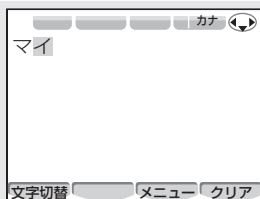
●選んだ項目は太線で表示されます。

2 を押す

●文字入力モードに切り替わります。

3 文字切替 を数回押して入力モードを選ぶ

選んだ入力モードが画面に表示されます。

●文字の入力モードが半[英]のとき を押すとよく利用する定型文が表示されます。

4 ダイヤルボタンで文字を入力する

●入力した文字は表示エリアに表示されます。次の文字を入力するか、文字切替ボタンを押すと入力した文字が確定します。

文字を削除するときは
①▲▼◀▶で削除したい文字にカーソルを合わせる。
②クリアボタンを押すと選択した文字が削除される。
・削除した後ろの文字が詰まります。

■ **文字を挿入するときは**
▲▼◀▶で挿入したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて新しく文字を入力します。

■ **改行するときは**
▲▼◀▶で改行したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて、ダイヤルボタンで #（改行）を押してください。表示エリアには ↵ が表示されます。
メールの本文入力時のみ入力できます。ただし、数字入力モードや半角数字入力モードのときは「#」が入力されて改行は入力されません。

■ **定型文を挿入するときは**
文字入力モードが表示されている状態でメニューボタンを押して定型文を挿入する操作をしてください。（P.8-19）

■ **区点モードで文字を入力するときは**
① 手順3で[区点]（区点入力モード）を選ぶ
② ダイヤルボタンで区点コードを入力する
区点コードは、区点コード一覧表（P.11-8～11-19）を参照してください。
③ 入力した区点コードの文字が表示エリアに表示されます。

■ **絵文字モードで文字を入力するときは**
① 手順3で［絵文字］（絵文字入力モード）を選ぶ
② ▲▼◀▶で入力したい絵文字を選ぶ
③ を押す
選択した文字が表示エリアに表示されます。

お知らせ
● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

電話帳から宛先を検索する

電話帳に登録してあるメールアドレスを検索して宛先に設定することができます。
電話帳の登録方法は、P.3-12を参照してください。

電話帳から宛先を検索する

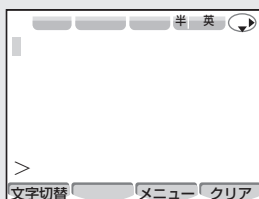
宛先の入力欄が選択された状態で操作します。

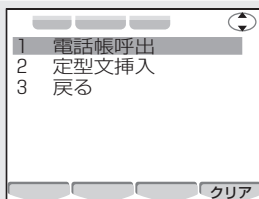
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 （決定）を押す

文字切替 ／ メニュー ／ クリア

●宛先欄の文字入力モードが表示されます。

2 メニュー を押す

3 「電話帳呼出」を選ぶ

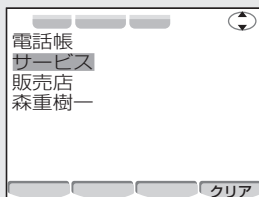
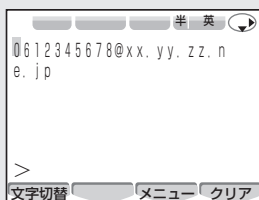
1 電話帳呼出
2 定型文挿入
3 戻る
クリア

4 （決定）を押す

●電話帳検索画面が表示されます。

5 （▲）または（▼）で送信先を選ぶ

電話帳
サービス
販売店
森重樹一
クリア

6 （決定）を押す

0612345678@xx.yy.zz.ne.jp
文字切替 ／ メニュー ／ クリア

●宛先入力画面に変わり、選んだ相手の方のメールアドレスが表示されます。

7 （決定）を押す

●メール作成画面に変わります。宛先が確定されます。

宛先を登録する

よく使う宛先（メールアドレス）をあらかじめ登録しておくと、送信メールを作成するたびに入力する手間がかかりません。
子機では、宛先を「宛先リスト」に直接登録します（最大30件まで）。宛先リストに登録するには、先に電話帳に登録しておく必要があります。
なお、宛先は親機と子機で別々に保存されます。

親機で宛先を登録する

1 「親機の電話帳に登録する」（P.3-12〜3-14）の操作で、宛先を電話帳に登録する

宛先を子機の宛先リストに登録／変更する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 [機能] を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 [▲] または [▼] で「メール」を選んだあと、[▶電話帳] を押す

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。

3 [▲] または [▼] で「宛先リスト」を選んだあと、[▶電話帳] を押す

池田 悟

◆：検索
◀戻る　選択▶

●電話帳に登録している相手の方を表示します。

4 [▲] または [▼] で宛先を登録、または変更する相手の方を選んだあと、[▶電話帳] を押す

次ページへ→

→つづき

5 宛先を入力する（最大半角50文字）（P.1-38、1-42～1-44）

●半[英]、または半[数]で入力します。（全角「漢字、カナ、区点」を入力することもできます。）
●変更するときは、クリアボタンを押して変更する文字を消してから入力し直してください。
●文字の入力モードが半[英]のとき(＊)を押すとよく利用する定型文が表示されます。

6 (機能) を押す

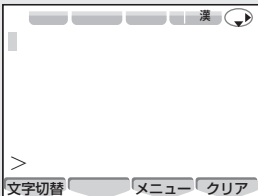
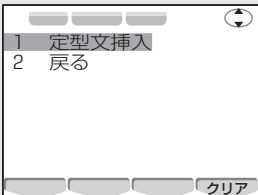
宛先リスト
登録しました
残り： 10

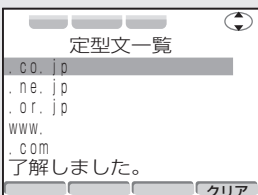
●残りの登録可能件数を表示して、宛先リストに宛先が登録されます。

■ 子機の宛先リストを変更するときは

① 機能ボタンを押す
② (▲) または (▼) で「メール」を選んだあと、(▶) を押す
③ (▲) または (▼) で「宛先リスト」を選んだあと、(▶) を押す
（電話帳に登録している相手の方を表示します。）
④ (▲) または (▼) で宛先を変更する相手の方を選んだあと、(▶) を押す
⑤ (▲) または (▼) で「変更」を選んだあと、(▶) を押す
⑥ 宛先を変更する（最大半角50文字）（P.1-42～1-44）
⑦ 機能ボタンを押す

■ 子機の宛先リストを一件ずつ消去するときは

① 機能ボタンを押す
② (▲) または (▼) で「メール」を選んだあと、(▶) を押す
③ (▲) または (▼) で「宛先リスト」を選んだあと、(▶) を押す
（電話帳に登録している相手の方を表示します。）
④ (▲) または (▼) で宛先を消去する相手の方を選んだあと、(▶) を押す
⑤ (▲) または (▼) で「削除」を選んだあと、(▶) を押す
⑥ 機能ボタンを押す
（選んだ宛先を消去します。）
※ 宛先は消去されますが電話帳に登録した相手の方の名前と電話番号は消去されていません。登録した相手の方の名前と電話番号を消去するときは、P.3-20をご覧ください。

定型文を挿入する

メールの「宛先」「題名」「本文」を入力や編集するときに、定型文を挿入することができます。定型文は、あらかじめ親機には10件、子機には5件（最大10件まで登録できます。）登録されていて、それぞれを編集することもできます。

定型文を挿入する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 **文字入力モードに切り替える**
（P.8-13～8-15）

漢
>
文字切替　メニュー　クリア

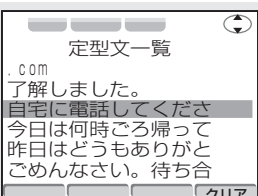
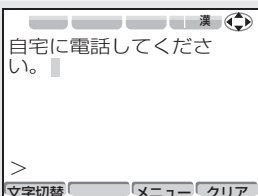
2 メニュー **を押す**

1　定型文挿入
2　戻る
クリア

3 または で **「定型文挿入」を選び、** /決定 **を押す**

定型文一覧
.co.jp
.ne.jp
.or.jp
www.
.com
了解しました。
クリア

4 または **で挿入したい定型文を選ぶ**

定型文一覧
.com
了解しました。
自宅に電話してくださ
今日は何時ごろ帰って
昨日はどうもありがと
ごめんなさい。待ち合
クリア

あらかじめ登録されている定型文は
「.co.jp」、「.ne.jp」、「.or.jp」、
「www.」、「.com」、
「了解しました。」、
「自宅に電話してください。」、
「今日は何時ごろ帰ってきますか？」、
「昨日はどうもありがとうございました。」、
「ごめんなさい。待ち合わせに30分ほど遅れます。」

5 /決定 **を押す**

漢
自宅に電話してください。
>
文字切替　メニュー　クリア

●選択した定型文が表示エリアに表示されます。

お知らせ

- 挿入した後の定型文を編集することができます。
- 定型文を挿入したときに、入力可能な文字数を超えた場合、入力可能な文字数だけ挿入されます。

定型文を編集する

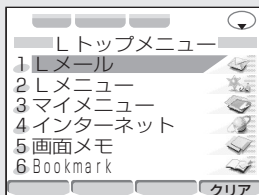
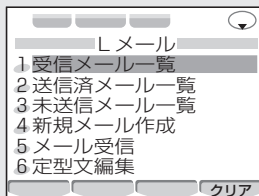
途中でやめるとき

停止ボタンを押す

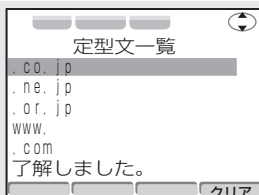
1 を押す

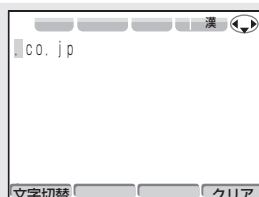
Lトップメニュー
1 Lメール
2 Lメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

2 または で「Lメール」を選び、を押す

Lメール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

●メールメニューが表示されます。

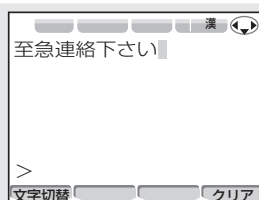
3 または で「定型文編集」を選び、を押す

定型文一覧
.co.jp
.ne.jp
.or.jp
www.
.com
了解しました。
クリア

4 または で編集したい定型文を選び、を押す

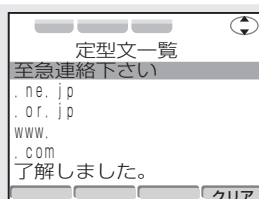
漢
.co.jp
文字切替 クリア

●文字入力モードに切り替わります。

5 定型文の文字を編集する

(P.8-13～8-15)

漢
至急連絡下さい
>
文字切替 クリア

●編集は、1件あたり全角25文字(半角50文字)の範囲で行えます。

6 を押す

定型文一覧
至急連絡下さい
.ne.jp
.or.jp
www.
.com
了解しました。
クリア

●編集された定型文が登録されます。

子機の定型文を編集／作成する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 ▲ **または** ▼ **で「メール」を選んだあと、** ▶電話帳 **を押す**

▶受信ﾒｰﾙ一覧
送信ﾒｰﾙ一覧
新規ﾒｰﾙ作成
◀終了　選択▶

3 ▲ **または** ▼ **で「定型文編集」を選んだあと、** ▶電話帳 **を押す**

<定型文：01>
了解しました
。

4 ▲ **または** ▼ **で編集する定型文を選び** ▶電話帳 **を2回押す**

新しく追加する定型文の番号を選んだときは、 ▶電話帳 **を1回押す**

<定型文：02>
自宅に電話し
てください。

5 定型文を編集または作成する
（最大全角25文字、半角50文字）
（P.1-38、1-42～1-44）

定型　　[漢]
自宅に電話し
てください。

●編集するときは、クリアボタンを押して文字を消してから入力し直してください。
●（改行）を押しても改行はできません。

6 機能 **を押す**

●定型文の編集／作成が終了します。

■ **子機の定型文を削除するときは**

① 機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「メール」を選んだあと、▶ を押す
③ ▲ または ▼ で「定型文編集」を選んだあと、▶ を押す
④ ▲ または ▼ で削除する定型文を選んだあと、▶ を押す
⑤ ▲ または ▼ で「削除」を選んだあと、▶ を押す
⑥ 機能ボタンを押す（選んだ定型文を消去します。）

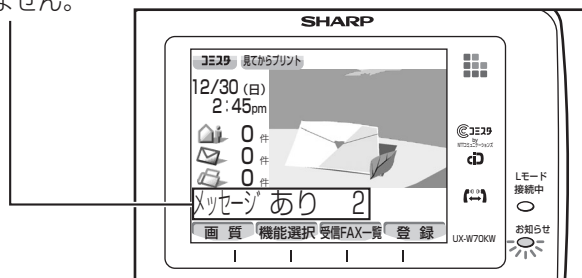
お知らせ

● 子機には、あらかじめ5件の定型文が登録されています。（定型文番号の06～10には登録されていません。）

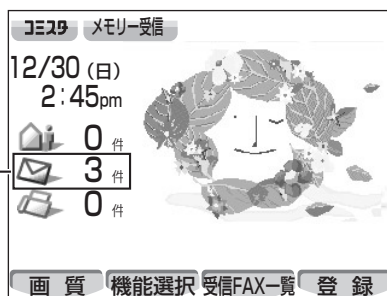
定型文番号	定型文
01	了解しました。
02	自宅に電話してください。
03	今日は何時ごろ帰ってきますか？
04	昨日はどうもありがとうございました。
05	ごめんなさい。待ち合わせに30分ほど遅れます。

メールを受信する／表示する

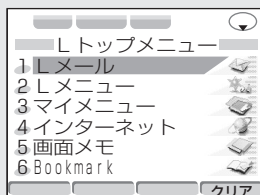
● メッセージ到着お知らせサービス（メッセージ有り通知）を利用すると、「Ｌモード」に新着メールが蓄積されたときに、ディスプレイに「メッセージあり 2」と表示され、お知らせランプが点灯します。

※この表示は、メールが有ることをお知らせするもので、受信したメールの件数ではありません。

※新着メールが蓄積されたときメロディでお知らせするには、「メッセージ着信音」を「あり」にしてください。

①登録ボタンを押す
②（▲）または（▼）で「詳細設定」を選び、（決定）を押す
③（▲）または（▼）で「メッセージ着信音」を選び、（決定）を押す
④「あり」を選んで（決定）を押す
⑤停止ボタンを押す

● 「メッセージあり 2」と表示されたら、「メール受信をして表示する」（P.8-23）の操作で内容を見ることができます。ファクス本体に受信メールとして保存すると、待機画面に戻ります。

お知らせ

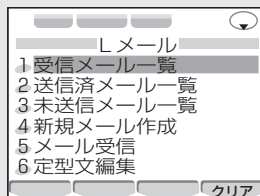
● メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「する」になっていることを確認してください。（P.9-3）
● メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイサービスを契約されていなくても利用することができます。
● 通信中や操作中は、メッセージ有り通知を表示しません。
● 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
● メッセージ有り通知を表示中に停電し、その後復旧すると「メッセージ有り通知」の表示はしません。
● メッセージ有り通知は、メッセージセンターからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
● 端末機器自動設定（P.8-4、8-74）が正しく設定されていない場合、メッセージ到着お知らせサービスのメッセージが正常に表示されないことがあります。
● 受信メールの本文は全角で500文字（半角1000文字）まで受信できます。
● 受信メール一覧やメールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは（▲）または（▼）でスクロールさせて表示してください。
● 保存できる受信メールは30件までです。30件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外のメールが古いものから自動的に削除されます。
● メールを受信したとき、未読メールと保護メールの件数が合わせて30件を超えると「これ以上、メールが保存できません」と表示されます。そのときは、未読メールの内容を確認するか、保護メールを解除して不要なメールを消去してください。
● 「Ｌモード」に受信メールが無かったときは、「受信メールがありません。」と表示されます。
● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

メールを受信して表示する

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

1 **を押す**

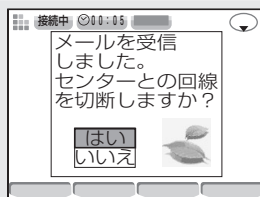
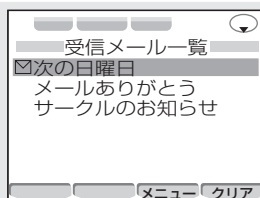
●Ｌトップメニューが表示されます。

2 「Ｌメール」を選び、(/決定)を押す

3 (▲) または (▼) で「メール受信」を選び、(/決定)を押す

●「これ以上、メールが保存できません」と表示したときは、受信メールが一杯で新しいメールを保存できません。(/決定)を押すと受信メールの一覧が表示されますので、不要なメールを削除してください。（P.8-28）

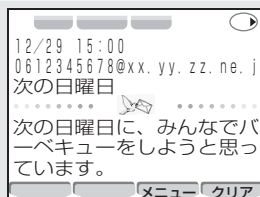
●「Ｌモード」に接続し、メールを受信します。

●「センターとの接続に失敗しました」と表示したときは、(/決定)を押すと受信メールの一覧が表示されます。ただし、新しく保存されたメールは表示されません。

4 受信完了のメッセージが表示されたら、「はい」を選ぶ

5 (/決定) **を押す**

●ディスプレイに受信メール一覧が表示され、最新の受信メールが選択されています。

●受信メールの識別マークについて
次の識別マークを表示して、メールの状態を表わしています。
✉……………まだ読んでいないメール
□（空白）………すでに読んだメール
⚿…保護（P.8-27）されているメール

6 (/決定) **を押す**

●メールの内容が表示されます。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **受信メールの内容を印刷するには**

手順６から「ページプリントする」操作（P.8-65）を行ってください。

子機でメール送受信をする

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 または **で「メール」を選んだあと、** 電話帳 **を押す**

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

3 または **で「メール送受信」を選んだあと、** 電話帳 **を押す**

開始する？

[機能] 決定

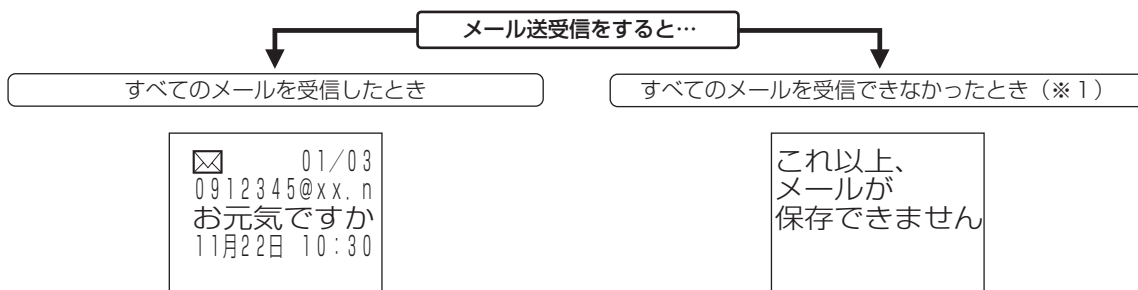
4 機能 **を押す**

<<通信中>>
＝✉

5 送受信の結果がディスプレイに表示される

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●受信メールがないときは、「受信メールありません」と表示し、待機画面に戻ります。

■ **子機でメールを受信したときの表示例**

（※１）メールを受信できる件数は最大30件です。受信件数がいっぱいのときは、不要なメールを消去（P.8-26）してから、もう一度行ってください。

保存している受信メールを表示する

ファクス本体に読出したメールは受信メールとして保存されています。受信メールの内容を表示するときは受信メール一覧表示画面から行います。

保存している受信メールを表示する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 （/決定）を押す

Lトップメニュー
1 Lメール
2 Lメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

2 「Lメール」を選び、（/決定）を押す

Lメール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

●メールメニューが表示されます。

3 「受信メール一覧」を選び、（/決定）を押す

受信メール一覧
次の日曜日
メールありがとう
サークルのお知らせ
メニュー クリア

●保存されている受信メールの一覧が表示されます。
●受信メールの識別マークについて
次の識別マークを表示して、メールの状態を表わしています。
✉……………まだ読んでいないメール
（空白）………すでに読んだメール
…保護（P.8-27）されているメール

4 （/決定）を押す

12/29 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次の日曜日
次の日曜日に、みんなでバーベキューをしようと思っています。
メニュー クリア

●メールの内容が表示されます。

■ **受信メールの内容を印刷するには（P.8-65）**
手順４から「ページプリントする」操作（P.8-65）を行ってください。

お知らせ

● メールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは（▲）または（▼）でスクロールさせて表示してください。
● 受信メールの内容を表示しているときは、（▶）で1つ前の、（◀）で次のメールを表示します。
● 題名のないメールを受信すると、受信メール一覧では何も表示されませんが受信メール１件として保存されています。

子機で受信メールを確認する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 機能 を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 ▲または▼で「メール」を選んだあと、▷電話帳 を押す

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

3 ▲または▼で「受信メール一覧」を選んだあと、▷電話帳 を押す

✉　01/03
abc54321@dem
昨日はありが
12月29日 17:40

●まだ読んでいないメールには✉が表示されます。
●親機の電話帳に登録されている相手の方からのメールを受信したときは、名前を表示します。（親機に全角7文字／半角13文字以上で登録されている名前は、全角6文字／半角12文字分まで表示します。）

4 ▲または▼で確認したいメールを選んだあと、▷電話帳 を押す

件名
昨日はありが
とう

5 内容を確認し、確認が終わったら 切 を押す

●▲または▼を押すと、件名、本文、送信者を切り替えて表示します。（件名がないときは、件名は表示されません。また、本文がないときも、本文は表示されません。）

■ 子機で受信メールを１件ずつ削除するときは

① 機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「メール」を選んだあと、▶ を押す
③ ▲ または ▼ で「受信メール一覧」を選んだあと、▶ を押す
（受信メールリストを表示します。）
④ ▲ または ▼ で削除するメールを選んだあと、▶ を２回押す
⑤ ▲ または ▼ で「削除」を選んだあと、▶ を押す
⑥ 機能ボタンを押す
（選んだメールを消去します。）

■ 子機で受信メールをすべて消去するときは

① 機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「メール」を選んだあと、▶ を押す
③ ▲ または ▼ で「一括削除」を選んだあと、▶ を押す
④ ▲ または ▼ で「受信メール」を選んだあと、▶ を押す
⑤ 機能ボタンを押す
（受信メール一覧の保護メール以外のメールをすべて消去します。）

お知らせ

● 子機で表示できる文字数は全角で250文字までです。250文字を越えているときは「//」が表示されます。
● 子機では絵文字を表示することはできません。

受信メールを保護する

残しておきたい受信メールを保護しておくと、誤って
削除することを避けられます。

受信メールを保護する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メール一覧を表示する
（P.8-25）

2 または で保護したい受信メールを選ぶ

受信メール一覧
次の日曜日
メールありがとう
サークルのお知らせ
メニュー クリア

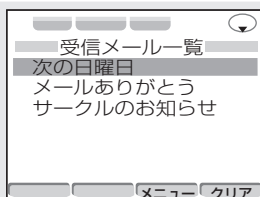
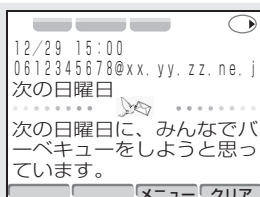
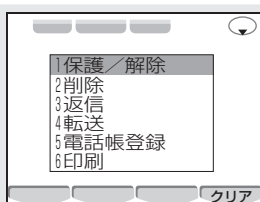
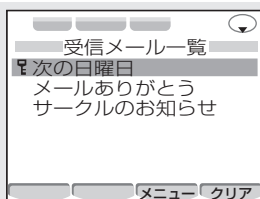
3 を押す

12/29 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次の日曜日
次の日曜日に、みんなでバーベキューをしようと思っています。
メニュー クリア

●メールの内容が表示されます。

4 メニュー を押す

5 「保護/解除」を選ぶ

1保護／解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷
クリア

6 を押す

受信メール一覧
次の日曜日
メールありがとう
サークルのお知らせ
メニュー クリア

●選択したメールに保護機能が設定され、受信メール一覧のメール名の先頭に、が表示されます。

……………まだ読んでいないメール
（空白）………すでに読んだメール
………………保護されているメール

■ 保護されているメールを解除するときは

再度手順1～6の操作を行うと保護が解除されます。

■ 保護されているメールを削除するときは

① 手順1～4を行う
② または で「削除」を選ぶ
③ を押す
④ もう一度 を押す

お知らせ

- 保護機能が設定できるのは、すでに読んだメールで15件までです。
- 30件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外のメールが古いものから自動的に削除されます。

受信メールを削除する

受信メールを削除する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 **受信メール一覧を表示する**
（P.8-25）

2 **または で内容を表示させたいメールを選ぶ**

受信メール一覧
次の日曜日
メールありがとう
サークルのお知らせ
メニュー クリア

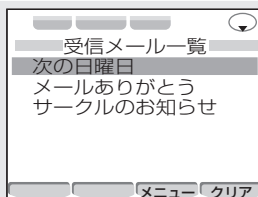
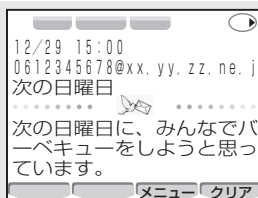
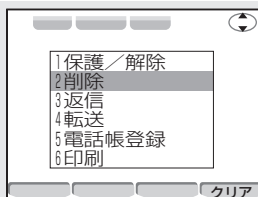
3 **を押す**

12/29 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次の日曜日
次の日曜日に、みんなでバーベキューをしようと思っています。
メニュー クリア

●選んだメールの内容が表示されます。

4 **メニュー を押す**

5 **または で「削除」を選ぶ**

1保護／解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷
クリア

6 **を押す**

7 **「はい」を選び、を押す**

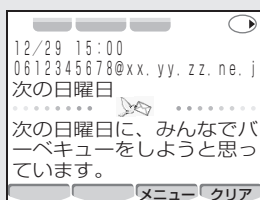
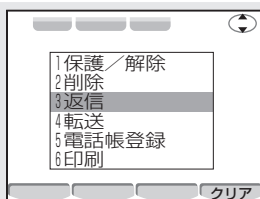
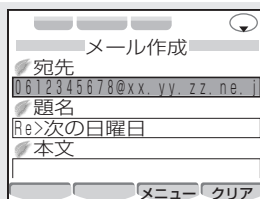
●削除をやめるときは「いいえ」を押します。

■ **受信メールをすべて削除するときは**

① 受信メール一覧を表示する
② メニューボタンを押す
③ または で「一括削除」を選んで、を押す
④ 「はい」を選び、を押す

メールに返事を出す

メールをもらった相手に返事を出すことができます。（返信メール）
返信メールは、受信メールを利用して相手の方のメールアドレスと題名を自動的に設定しますので、あらためて入力する必要はありません。

メールに返事を出す

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
（P.8-25）

12/29 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次の日曜日
次の日曜日に、みんなでバーベキューをしようと思っています。
メニュー　クリア

2 メニュー を押す

3 または で「返信」を選ぶ

1保護／解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷
クリア

●「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（P.8-40〜8-41、8-45）
送信済メールと未送信メールは合わせて30件まで保存できます。

4 /決定 を押す

メール作成
宛先
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
題名
Re>次の日曜日
本文
メニュー　クリア

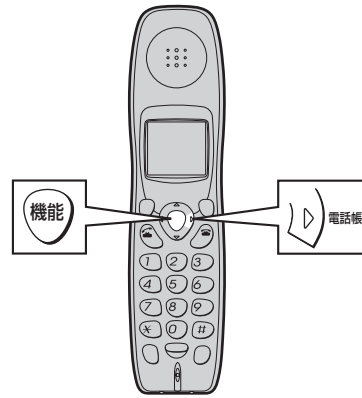
●返信メール入力画面が表示されます。

5 本文を入力して、送信する
（P.8-8〜8-9）

●返信メールの題名には自動的に「Re>」が付加されます。

■ **「Lモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 返信メールの宛先や題名を編集することができます。
- 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

子機でメールを返信する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 **「子機で受信メールを確認する」（P.8-26）の手順1〜4を操作する**

2 電話帳 **を押す**

▶削除
返信
転送
◀戻る　選択▶

3 **「返信」を選んだあと、電話帳 を押す**

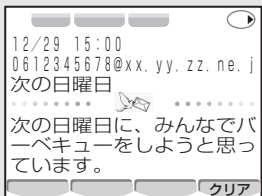
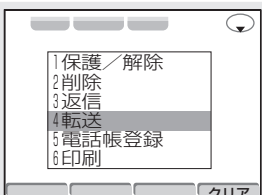
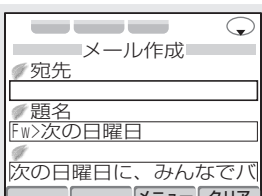
4 **「子機で送信メールを作成する」（P.8-10〜8-11）の手順4〜7を操作する**

●返信先の相手の方の宛先が表示されます。
●件名には、「Re:」のあとに送られてきたメールの件名が自動的に入力されています。別の件名にしたいときはクリアボタンで消したあと新しく入力し直してください。

5 **または で「メール送受信」を選んだあと、電話帳 を押す**

6 機能 **を押す**

●メールが返信されます。

メールを他の宛先に転送する

受信したメールの内容を他の人に知らせたいときに、受信したメールを転送することができます。
転送は、受信メールの題名と本文が自動的に入力されているので、相手のメールアドレスを設定するだけで送信できます。

メールを他の宛先に転送する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
（P.8-25）

2 メニュー を押す

3 または で「転送」を選ぶ

- 「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（P.8-40～8-41、8-45）
  送信済メールと未送信メールは、合わせて30件まで保存できます。
- メール入力画面が表示されます。

4 決定 を押す

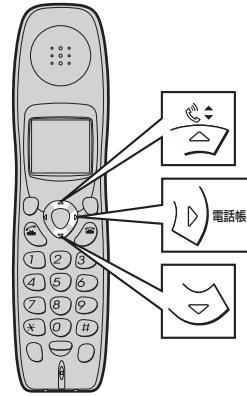
5 宛先を入力して、送信する
（P.8-8～8-9）

- 転送するメールの題名には自動的に「Fw>」が付加されます。
- 文字の入力モードが半［英］のとき ＊ を押すとよく利用する定型文が表示されます。

＊ を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」「@dem.odn.ne.jp」「www.」

■ **「Ｌモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 転送するメールの題名や本文を編集することができます。
- 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

子機でメールを転送する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 「子機で受信メールを確認する」（P.8-26）の手順1～4を操作する

2 ▷電話帳 を押す

▶削除
返信
転送
◀戻る　選択▶

3 △または▽で「転送」を選んだあと、▷電話帳 を押す

4 「子機で送信メールを作成する」（P.8-10）の手順4～7を操作する

●件名には、「Fw：」のあとに送られてきたメールの件名が自動的に入力されています。別の件名にしたいときはクリアボタンで消したあと新しく入力し直してください。
●本文には、送られてきたメールの本文があらかじめ入力されています。編集するときは、クリアボタンで消したあと新しく入力し直してください。

5 △または▽で「メール送受信」を選んだあと、▷電話帳を押す

6 機能 を押す

●メールが転送されます。

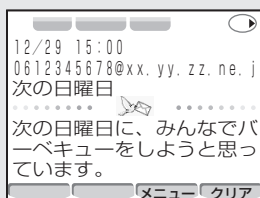
相手のメールアドレスを電話帳に登録する

受信メールを利用して、発信者のメールアドレスを電話帳に登録します。その場合、新たに電話帳が追加されます。

相手のメールアドレスを電話帳に登録する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 アドレスを登録したい受信メールを表示する
（P.8-25）

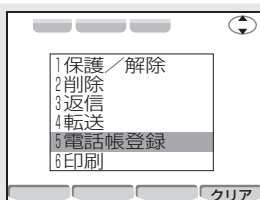
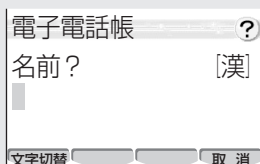
12/29 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次の日曜日
次の日曜日に、みんなでバーベキューをしようと思っています。
メニュー　クリア

2 メニュー を押す

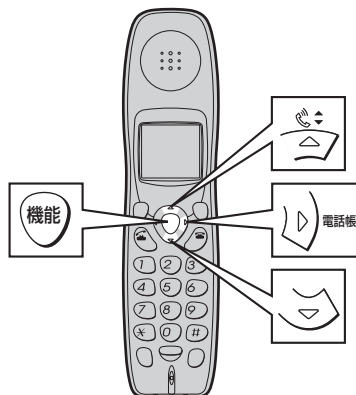
3 または で「電話帳登録」を選ぶ

1保護／解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷
クリア

4 /決定 を押す

電子電話帳 ?
名前？ ［漢］
文字切替　取 消

●電話帳登録画面が表示されます。
●「これ以上登録できません。」と表示されたときは、すでに電話帳に100件登録されていて、新しく登録することができません。/決定 を押すと受信メール内容表示に戻ります。不要な電話帳を削除（P.3-14）してからもう一度操作をやり直してください。
●登録が終わると、受信メールを表示します。

5 電話帳に名前、読み、電話番号を登録する
（P.3-12〜3-14）

6 登録が終わったら 停止 を押す

子機で受信したメールの宛先を登録する

1 「子機で受信メールを確認する」（P.8-26）の手順 1～4 を操作する

（P.8-26）

途中でやめるとき
切ボタンを押す

2 電話帳 を押す

▶削除
返信
転送
◀戻る　選択▶

3 ▲ または ▼ で「宛先リスト登録」を選んだあと、電話帳 を押す

4 ▲ または ▼ で登録したい相手の方を選んだあと、電話帳 を押す

●メールの宛先を登録していない相手の方のみ表示されます。

5 機能 を押す

●宛先リストにメールの宛先が登録されます。

送信済メールを表示する

送信したメールは送信済メールとして保存されています。送信済メールの内容を編集して未送信メールとして保存することができます。（P.8-37）

送信済メールを表示する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 [/決定]を押す

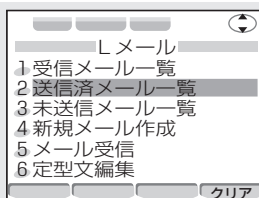
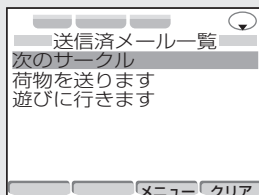
●メールメニューが表示されます。

2 [▲]または[▼]で「Lメール」を選び、[/決定]を押す

3 [▲]または[▼]で「送信済メール一覧」を選ぶ

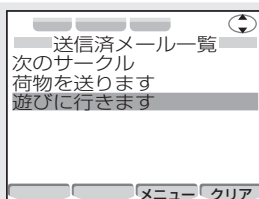
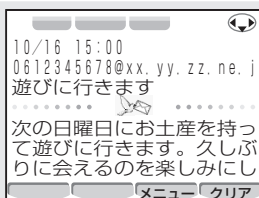
Lメール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

4 [/決定]を押す

送信済メール一覧
次のサークル
荷物を送ります
遊びに行きます
メニュー クリア

●保存されている送信済メールの一覧が表示されます。

5 [▲]または[▼]で表示したいメールを選ぶ

送信済メール一覧
次のサークル
荷物を送ります
遊びに行きます
メニュー クリア

6 [/決定]を押す

10/16 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
遊びに行きます
次の日曜日にお土産を持って遊びに行きます。久しぶりに会えるのを楽しみにし
メニュー クリア

●選択したメールの内容が表示されます。

お知らせ

- 送信済メールの内容を表示しているときは、[▶]で1つ前の、[◀]で次のメールを表示します。
- 送信済メールは未送信メールと合わせて30件まで保存できます。
- 題名を入力せずにメールを送信すると送信メール一覧では何も表示されませんが、送信済メール１件として保存されています。

子機で送信メールを確認する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 機能 **を押す**

2 または で「メール」を選んだあと、電話帳 **を押す**

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。

3 または で「送信メール一覧」を選んだあと、電話帳 **を押す**

01/02
abc54321@dem
昨日はありが
11月10日 16:22

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。
●未送信メールには が表示されています。

4 または で メールを選んだあと、電話帳 **を押す**

件名
昨日はありが
とう

5 **内容を確認する**

●(▲)または(▼)を押して、件名、本文、宛先を切り替えて表示します。（件名がないとき、件名は表示されません。また、本文がないとき、本文は表示されません。）

6 確認が終わったら
切 **を押す**

■ 子機で送信メールを1件ずつ消去するときは

① 機能ボタンを押す
② (▲) または (▼) で「メール」を選んだあと、(▶) を押す
③ (▲) または (▼) で「送信メール一覧」を選んだあと、(▶) を押す
（送信メールリストを表示します）
④ (▲) または (▼) で消去するメールを選んだあと、(▶) を2回押す
⑤ (▲) または (▼) で「削除」を選んだあと、(▶) を押す
⑥ 機能ボタンを押す（選んだメールを消去します。）

■ 子機で送信メールをすべて消去するときは

① 機能ボタンを押す
② (▲) または (▼) で「メール」を選んだあと、(▶) を押す
③ (▲) または (▼) で「一括削除」を選んだあと、(▶) を押す
④ (▲) または (▼) で「送信メール」を選んだあと、(▶) を押す
⑤ 機能ボタンを押す
（送信メールをすべて消去します。）

送信済メールを編集する

送信済メールの内容を編集することができます。送信済メールは、内容を編集して未送信メールとして保存することができます。

送信済メールを編集する

1 編集したい送信済メールの内容を表示する
（P.8-35）

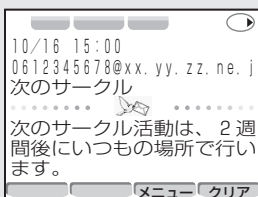
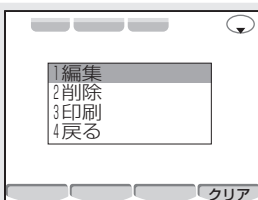
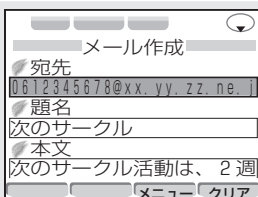
10/16 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次のサークル
次のサークル活動は、２週間後にいつもの場所で行います。
メニュー　クリア

2 メニュー を押す

3 「編集」を選ぶ

1編集
2削除
3印刷
4戻る
クリア

4 決定 を押す

メール作成
宛先
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
題名
次のサークル
本文
次のサークル活動は、２週
メニュー　クリア

●メールの入力画面が表示されます。

5 内容を修正する
①▲または▼で修正する項目を選ぶ
②決定を押す
③文字を修正する
（P.8-13～8-15）
④決定を押す

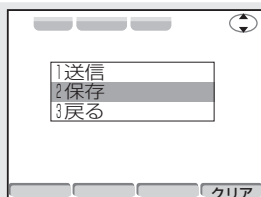
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

6 メニュー を押す

7 または で「保存」を選ぶ

1送信
2保存
3戻る
クリア

●送信するときは、「送信」を選びます。

8 /決定 を押す

●未送信メールとして保存されます。

お知らせ

- 手順4で「これ以上、メールが保存できません」と表示されたときは、すでに未送信メールと送信済メールが合わせて30件保存され、新しいメールが保存できない状態にあります。不要な未送信メールまたは送信済メールを削除して（P.8-40～8-41、8-45）からもう一度操作をやり直してください。
- 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

子機で送信メールを編集する

1 「子機で送信メールを確認する」（P.8-36）の手順1～4を操作する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●未送信メールには ✉ が表示されています。

2 機能 を押す

▶編集
消去
◀戻る　選択▶

3 「編集」を選んで、▷電話帳 を押す

宛先　半 [英]
abc54321@dem

4 「子機で送信メールを作成する」（P.8-10）の手順4～8を操作する

●文字を修正するときは
（P.1-38、1-42～1-44）
●宛先、件名、本文は選んだ送信メールの文字が自動的に入力されています。
変更するときはクリアボタンを押して文字を消してから入れ直してください。

■ 「送信メールいっぱいです」と表示されたときは

すでに送信メールが30件保存されています。
不要な送信メールを消去してから作成してください。（P.8-36）

送信済メールを削除する

送信済メールを削除する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 **送信済メール一覧を表示する**
（P.8-35）

2 **（上）または（下）で削除したいメールを選ぶ**

送信済メール一覧
次のサークル
荷物を送ります
遊びに行きます
メニュー　クリア

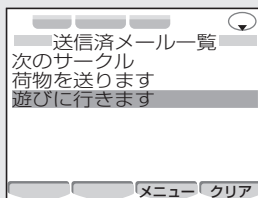
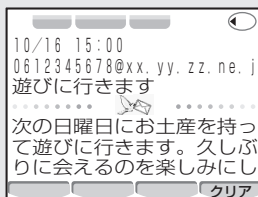
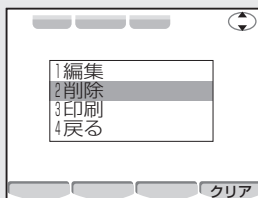
3 **（/決定）を押す**

10/16 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
遊びに行きます
次の日曜日にお土産を持って遊びに行きます。久しぶりに会えるのを楽しみにし
クリア

●選択したメールの内容が表示されます。

4 **（メニュー）を押す**

5 **（上）または（下）で「削除」を選び、（/決定）を押す**

1編集
2削除
3印刷
4戻る
クリア

次ページへ→

→つづき

6 「はい」を選び、（/決定）を押す

●削除をやめるときは、（▼）を押して「いいえ」を選んでください。

■ **送信済メールをすべて削除するときは**

① 送信済メール一覧を表示する
② メニューボタンを押す
③ 「一括削除」を選んで、（/決定）を押す
④ 「はい」を選んで、（/決定）を押す
削除をやめるときは、（▼）を押して「いいえ」を選んで、（/決定）を押してください。

未送信メールを表示する

メールを作成して保存したり送信できなかったメールを、未送信メールとして保存できます。

未送信メールを表示する

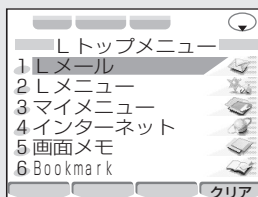
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

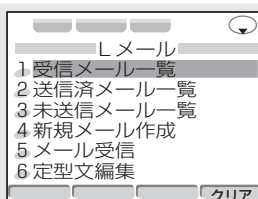
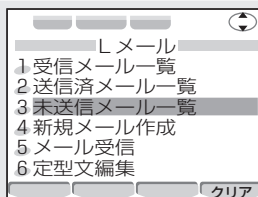
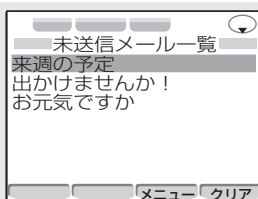
1 （/決定）を押す

L トップメニュー
1 L メール
2 L メニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

2 「Lメール」を選び、（/決定）を押す

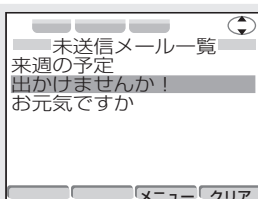
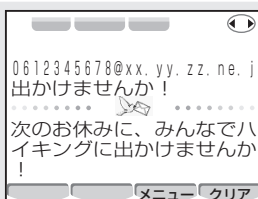
●メールメニューが表示されます。

L メール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

3 （▲）または（▼）で「未送信メール一覧」を選ぶ

L メール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

4 （/決定）を押す

●保存されている未送信メールの一覧が表示されます。

未送信メール一覧
来週の予定
出かけませんか！
お元気ですか
メニュー クリア

5 （▲）または（▼）で内容を表示したいメールを選ぶ

未送信メール一覧
来週の予定
出かけませんか！
お元気ですか
メニュー クリア

6 （/決定）を押す

●選んだメールの内容が表示されます。
●未送信メールを送信するときは（P.8-43）
●未送信メールの内容を表示しているとき、（►）で１つ前の、（◄）で次のメールを表示します。

0612345678@xx.yy.zz.ne.j
出かけませんか！
次のお休みに、みんなでハイキングに出かけませんか！
メニュー クリア

お知らせ

- 未送信メールは送信済メールと合わせて30件まで保存できます。
- 題名を入力せずにメールを保存すると、未送信メール一覧表示では何も表示されませんが未送信メール１件として保存されています。

未送信メールを送信する

未送信メールを送信する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 未送信メールの内容を表示する
（P.8-42）

0612345678@xx.yy.zz.ne.j
出かけませんか！
次のお休みに、みんなでハイキングに出かけませんか！
メニュー　クリア

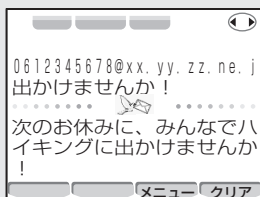
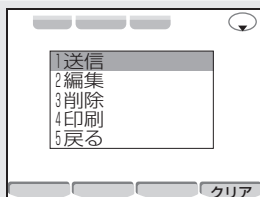
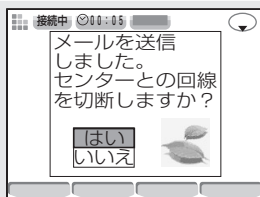
2 メニュー を押す

3 「送信」を選ぶ

1送信
2編集
3削除
4印刷
5戻る
クリア

4 決定 を押す

5 送信が終わったら「はい」を選ぶ

接続中 00:05
メールを送信しました。
センターとの回線を切断しますか？
はい
いいえ

●選んだ未送信メールが送信されます。
●「いいえ」を選んで 決定 を押すと回線が切断されずに未送信メール一覧画面に戻ります。

6 決定 を押す

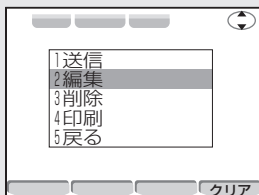
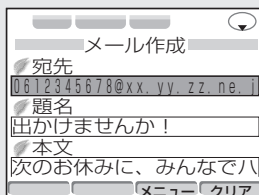
■ **未送信メールを一括して送信するときは**
（P.8-46）

未送信メールを編集する

未送信メールの内容を編集して、新しい未送信メール
として保存することができます。

未送信メールを編集する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

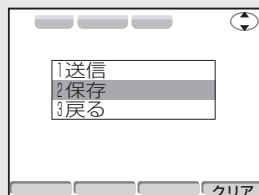
1 編集したい未送信メールの内容を表示する（P.8-42）

0612345678@xx.yy.zz.ne.j
出かけませんか！
次のお休みに、みんなでハイキングにでかけませんか！
メニュー クリア

2 メニュー を押す

3 または で「編集」を選ぶ

1送信
2編集
3削除
4印刷
5戻る
クリア

4 決定 を押す

メール作成
宛先
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
題名
出かけませんか！
本文
次のお休みに、みんなでハ
メニュー クリア

- ●メールの入力画面が表示されます。
- ●「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（P.8-40～8-41、8-45）送信済メールと未送信メールは合わせて30件まで保存できます。
- ●相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

5 内容を修正する

①▲または▼で修正する項目を選ぶ
②決定を押す
③文字を修正する
（P.8-13～8-15）
④決定を押す

6 メニュー を押す

7 または で「保存」を選んで、決定 を押す

- ●新しい未送信メールとして保存されます。編集前のメールもそのまま残ります。
- ●「送信」を選んで 決定 を押すとそのまま送信できます。

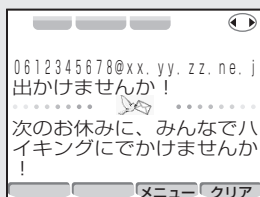
未送信メールを編集する

Lモード

未送信メールを削除する

未送信メールを削除する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 削除したい未送信メールの内容を表示する
（P.8-42）

0612345678@xx.yy.zz.ne.j
出かけませんか！
次のお休みに、みんなでハイキングにでかけませんか！
メニュー　クリア

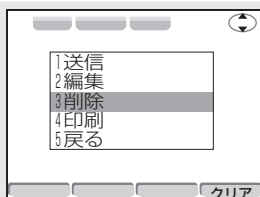
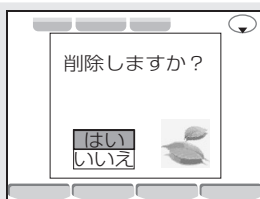
●選んだメールの内容が表示されます。

2 メニュー を押す

3 または で「削除」を選び、 を押す

1送信
2編集
3削除
4印刷
5戻る
クリア

4 「はい」を選び、 を押す

削除しますか？
はい
いいえ

●削除をやめるときは、▼を押して「いいえ」を選んでください。

■ **未送信メールをすべて削除するときは**

① 未送信メール一覧を表示する
（P.8-42 手順1～4）
② メニューボタンを押す
③ 「一括削除」を選んで、 を押す
④ 「はい」を選んで、 を押す
削除をやめるときは、▼を押して「いいえ」を選んで、 を押してください。

未送信メールを一括送信する

保存されている未送信メールを一度の操作ですべて送信することができます。（一括送信）

未送信メールを一括送信する

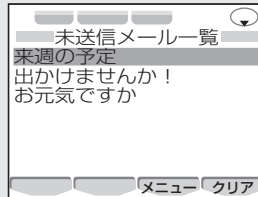
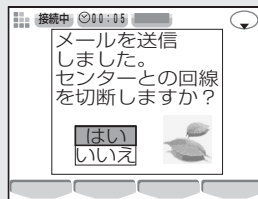
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 「未送信メール一覧」を表示する
（P.8-42 手順１～４）

未送信メール一覧
来週の予定
出かけませんか！
お元気ですか
メニュー　クリア

2 メニュー を押す

3 または で「一括送信」を選ぶ

1一括削除
2一括送信
3戻る
クリア

4 /決定 を押す

- 未送信メールがすべて送信されます。
- 「Ｌモード」と回線がつながっていなかった場合でも、自動的に回線を接続してメールを送信します。

5 送信が終わったら「はい」を選ぶ

接続中 00：05
メールを送信しました。
センターとの回線を切断しますか？
はい
いいえ

- 「いいえ」を選んで /決定 を押すと回線が切断されずに未送信メール一覧画面に戻ります。

6 /決定 を押す

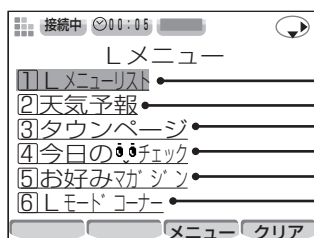
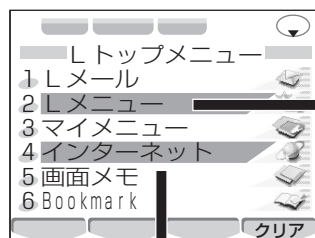
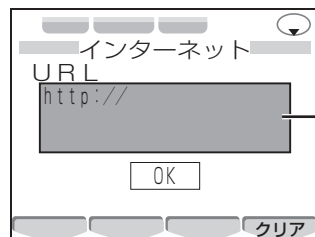
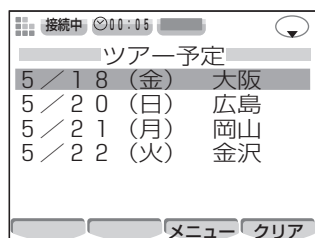
■ **メールの送信を途中で止めるときは**
「接続中」の表示が出ている間に /決定 を押してください。送信が中止されて未送信メール一覧に戻ります。そのとき、メール送信が完了したメールは未送信メール一覧から削除されています。

■ **「Ｌモード」通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

情報検索サービスについて

天気予報やタウン情報など生活に役立つ情報を取り出すことができます。
また、アドレス（URL）を入力するとインターネット上のホームページなども見ることができます。

●取り出した情報は、そのサイト（番組）を登録したり、ページを保存・印刷することができます。

①**ページやサイトを登録して素早く表示する**（P.8-52）
②**サイトのページを保存する**（P.8-61）
③**表示したページをプリントする**（P.8-65）

●サイト（番組）から着信メロディーを取り込む（ダウンロードする）こともできます。

①**着信メロディを取り込む**（P.8-50）

サイト（番組）を表示する

サイト（番組）をご覧になるときは、まず目次にあたる「Ｌメニュー」を表示させせます。「Ｌメニュー」からお好きな項目を選択していき、サイト（番組）を表示します。

サイト（番組）を表示する

1 （決定）を押す

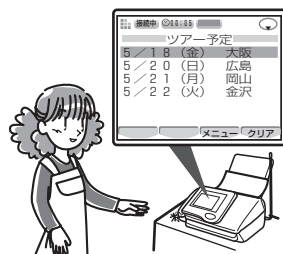
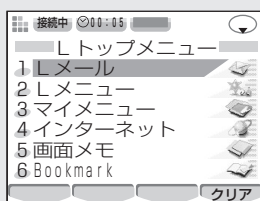
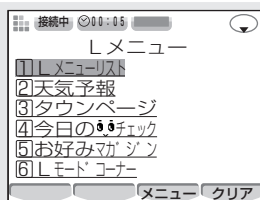
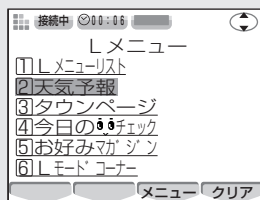
接続中 00:05
Ｌトップメニュー
1 Ｌメール
2 Ｌメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

●Ｌトップメニューが表示されます。
●親機の電源がOFFになったり、停電になった時は、再度アクセスポイント電話番号（センター番号）の設定をしてください。
（P.8-4）

2 （▼）で「Ｌメニュー」を選び、（決定）を押す

接続中 00:05
Ｌメニュー
1 Ｌメニューリスト
2 天気予報
3 タウンページ
4 今日のチェック
5 お好みマガジン
6 Ｌモードコーナー
メニュー クリア

3 （▲）または（▼）でお好きな項目を選ぶ

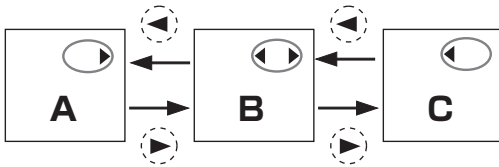
接続中 00:06
Ｌメニュー
1 Ｌメニューリスト
2 天気予報
3 タウンページ
4 今日のチェック
5 お好みマガジン
6 Ｌモードコーナー
メニュー クリア

4 （決定）を押す

5 見たいサイトが表示されるまで手順3の操作を繰り返す

● （キャッチ/消去 Ｌ回線断）を押すと、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。通信料金をかけずにページ内容を見たいときなどに操作してください。

■ **1つ前の画面に戻るときは**

（◀ ）が表示されているときは（◀）を押してください。

（例）ページをA→B→Cと表示してきた場合

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示して、電話やファクスは使えません。

■ **「Lモード」を終了するときは**

停止ボタンを押します。

■ **画像データを表示させたくないときは**

画像表示設定で画像データを表示させないようにすることができます。（P.8-74）

■ **表示したページをプリントするには**

（P.8-65）

お知らせ

- 回線の状態によっては、まれに「Lモード」に接続できない場合があります（「センターとの接続に失敗しました。」が表示されます）。
- 回線の状態によっては、サイトが表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。
- 回線の状態によっては、まれに「Lモード」との接続が切断されることがあります。

  また、「Lモード」に接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。

  （「センターとの接続が切断されました。」と画面表示され、表示していたブラウザマークが消えます。）

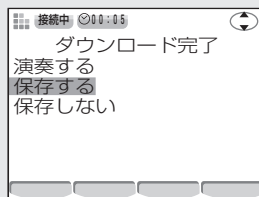
  この場合は、（/決定）を押して「センターとの接続が切断されました。」の画面表示を消し、もう一度（/決定）を押して「Lモード」への接続の操作を始めてください。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- GIF, JPEG形式以外の画像データを表示することはできません。その場合、画像の位置に ☒ を表示します。GIF，JPEG形式の画像データであっても表示できない場合があります。

着信メロディを取り込む

サイト（番組）等から、最新の曲やお好みの曲をダウンロードして着信音として利用することができます。
3曲までダウンロードできます。

サイト（番組）等から着信メロディを取り込む

1 着信メロディが掲載されているサイトを表示する
（P.8-48）

2 着信メロディをダウンロードする

●着信メロディのダウンロード方法は各サイトで異なります。

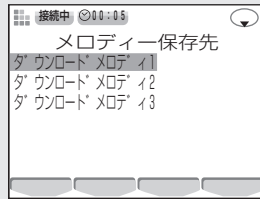
3 または で「保存する」を選ぶ

接続中 00：05
ダウンロード完了
演奏する
保存する
保存しない

4 /決定 を押す

次ページへ→

→つづき

5 [▲]または[▼]で保存する場所を選ぶ

●ダウンロードメロディ1〜3に保存することができます。
すでに着信メロディが保存されているときは、タイトルが表示されています。

6 [/決定]を押す

●すでに保存されている着信メロディを選んだときは、上書き保存されます。

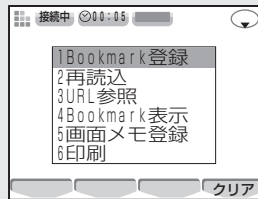
■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

● 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
● 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。

ページやサイトを登録して素早く表示する

ページやサイトのアドレス（URL）を、短いタイトルをつけて登録しておくことができます。（Bookmark）
よく見るページを登録しておくと、Bookmarkを選択するだけで簡単にそのページを表示できます。

■ **登録されているBookmarkを確認するときは**

① 待機画面を表示中に を押す
② または で「Bookmark」を選ぶ
③ を押す
登録したBookmark一覧が表示されます。

■ **登録されているBookmarkを削除するときは**

① Bookmarkを確認する操作をする
② または で削除したいBookmarkを選ぶ
③ メニューボタンを押す
④ または で「削除」を選ぶ
⑤ を押す
Bookmarkが削除されます。

■ **「これ以上登録できません」と表示されたときは**

すでに10件登録されています。新しく登録するときは不要なBookmarkを削除してください。

■ **Bookmarkと画面メモ（P.8-61）の違い**

Bookmarkからページを表示するときは、「Lモード」を介して最新の内容を受信し、表示します。画面メモを表示するときは、通信は行われずに保存時の内容がそのまま表示されます。内容の更新が多いページは、Bookmarkに登録すると常に最新の状態を表示できます。

お知らせ

- Bookmarkは最大10件まで登録することができます。
- Bookmarkのタイトルは、全角8文字（半角16文字）まで登録できます。8文字を超えるタイトルの場合、9文字目からは登録されません。
- 登録したBookmarkは停電があっても保存されています。

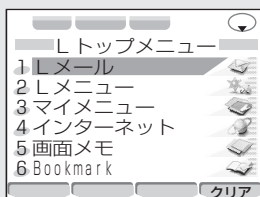
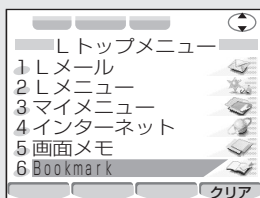
Bookmarkからサイトを表示する

1 決定を押す

Lトップメニュー
1 Lメール
2 Lメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

2 ▲または▼で「Bookmark」を選ぶ

Lトップメニュー
1 Lメール
2 Lメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

3 決定を押す

●Bookmark一覧画面が表示されます。
●Bookmarkのタイトルを編集するには（P.8-54）

4 ▲または▼で表示したいBookmarkを選ぶ

Bookmark
1 コンサート情報
2 スポーツニュース
3 芸能ニュース
4 気象情報
5 △△情報
メニュー　クリア

5 決定を押す

接続中 00:05
ツアー予定
5／18（金）　大阪
5／20（日）　広島
5／21（月）　岡山
5／22（火）　金沢
メニュー　クリア

●「Lモード」に接続して、Bookmark登録されているページが表示されます。

■ **ページ表示中にBookmarkからサイトを表示するには**

① ページを表示中にメニューボタンを押す
② ▲または▼で「Bookmark表示」を選ぶ
③ 決定を押す
Bookmark一覧画面が表示されます。
④ ▲または▼で表示したいBookmarkを選んで、決定を押す
Bookmark登録されているページが表示されます。

お知らせ

● Bookmark一覧画面で、タイトルの前の番号をダイヤルボタンで入力してサイトを表示させることができます。

Bookmarkのタイトルを編集する

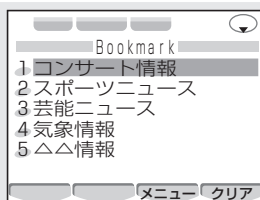
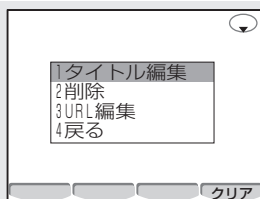
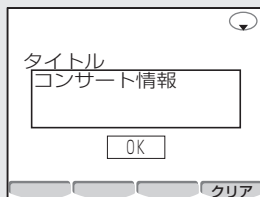
1 「Bookmarkからサイトを表示する」操作の手順1～3を行う
（P.8-53）

2 または で編集したいBookmarkを選ぶ

Bookmark
1 コンサート情報
2 スポーツニュース
3 芸能ニュース
4 気象情報
5 △△情報
メニュー クリア

3 メニュー を押す

4 または で「タイトル編集」を選ぶ

1タイトル編集
2削除
3URL編集
4戻る
クリア

5 を押す

タイトル
コンサート情報
OK
クリア

●タイトル編集画面が表示されます。

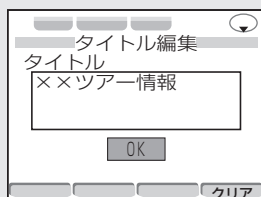
6 を押す

●文字入力モードに切り替わります。

次ページへ→

→つづき

7 新しいタイトルを入れ
（P.8-13～8-15）、
を押す

8 で「OK」を選ぶ

9 を押す

●Bookmarkの画面にもどります。

■ BookmarkのURL（アドレス）を編集するには

登録されているBookmarkのURL（アドレス）を編集することができます。文字数は最大で、全角250文字（半角500文字）までです。

① 「Bookmarkのタイトルを編集する」操作の手順3までを行う

② または で「URL編集」を選んで、
を押す

③ URLのテキストボックスが選択されている状態で を押す
URL編集画面が表示されます。

④ URLを編集する
文字の訂正や入力はP.8-13～8-15を参照してください。

⑤ を押す

⑥ を押して「OK」を選択する

⑦ を押す

お知らせ

● Bookmarkのタイトルは全角8文字（半角16文字）まで登録できます。8文字を超えるタイトルの場合、9文字目からは登録されません。
● Bookmarkのタイトルを編集しても登録されている順序は変更されません。
● フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
● 情報量が多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
● GIF, JPEG形式以外の画像は表示できません。

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。
マイメニューは「Ｌモード」に登録されます。
マイメニューの登録については「Ｌモードサービスの説明書」をご覧ください。

マイメニューに登録する

1 登録するサイトを表示する
（P.8-48）

2 [▲] または [▼] で「マイメニュー登録」を選ぶ

●サイトによりページ構成が異なります。該当する項目（契約や登録など）を選んでください。

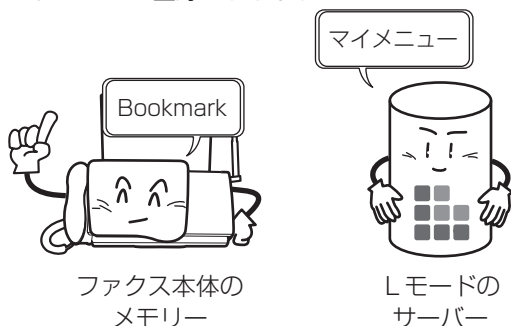
3 [/決定] を押す

●マイメニューにサイトが登録されます。

■ **Bookmark（P.8-52）とマイメニューの違い**

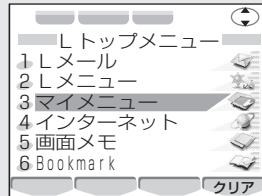
Bookmarkとマイメニューは、URLのデータを登録する場所が異なります。
Bookmarkのデータは、ファクス本体に登録されるのに対し、マイメニューは、「Ｌモード」のサーバーに登録されます。

ファクス本体の
メモリー

Ｌモードの
サーバー

マイメニューからサイトを表示する

1 を押す

2 または で「マイメニュー」を選ぶ

3 を押す

●登録されているマイメニューが一覧表示されます。

4 または で表示したいマイメニューを選んで を押す

●登録されているサイトが表示されます。

■ マイメニューの登録を解除するときは

登録したサイトを表示し、「マイメニュー解除」（解約や削除など、サイトにより異なります）を選びます。

■ 「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ 回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは

キャッチ/消去 L回線断 を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニュー登録できないサイトもあります。
- マイメニュー一覧画面で「Lメニューへ」を選んで、 を押すと、Lメニューが表示されます。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなど含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF, JPEG形式以外の画像は表示されません。

ページを再読み込みする

表示中のページの内容を受信し直します。画像が正常に表現できなかったときや、ページの内容を最新のものに更新するときなどに行います。

ページを再読み込みする

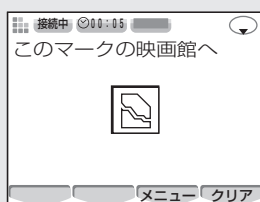
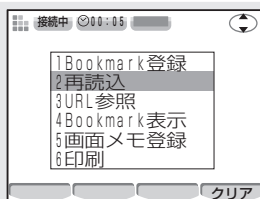
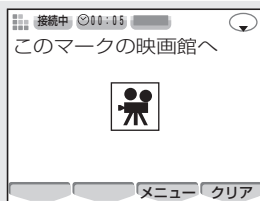
1 再読込みするページを表示された状態で メニュー を押す

接続中 00:05
このマークの映画館へ
メニュー クリア

2 または で「再読込」を選ぶ

接続中 00:05
1Bookmark登録
2再読込
3URL参照
4Bookmark表示
5画面メモ登録
6印刷
クリア

3 /決定 を押す

接続中 00:05
このマークの映画館へ
メニュー クリア

●再読込みした情報で、表示中のページが再表示されます。

■ **「Lモード」を終了させるときは**
停止ボタンを押します。

■ **「Lモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**
キャッチ/消去 L回線断 を押します。
回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなど含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF，JPEG形式以外の画像は表示されません。

URLを入力してページを表示する

ページには「URL」と呼ぶアドレスが付いています。これを入力して、個人、団体、企業などが開設しているさまざまなページを表示できます。

URLを入力してページを表示する

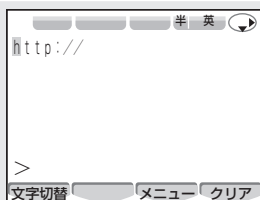
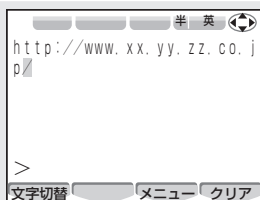
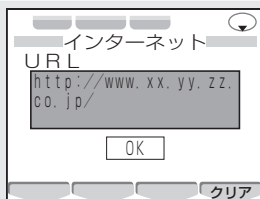
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 決定を押し、▲または▼で「インターネット」を選ぶ

Lトップメニュー
1 Lメール
2 Lメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

●Lトップメニューが表示されます。

2 決定を押す

インターネット
URL
http://
OK
クリア

●URLのテキストボックスが太線で選ばれていないときは、▲または▼でURLのテキストボックスを選んでください。

3 URLのテキストボックスが選ばれていることを確認して決定を押す

半 英
http://
>
文字切替 メニュー クリア

4 URL（アドレス）を入力する

半 英
http://www.xx.yy.zz.co.jp/
>
文字切替 メニュー クリア

●文字の入力方法は、P.8-13〜8-15を参照してください。
●入力するときは、大文字と小文字、全角と半角に注意してください。

5 決定を押す

6 ▼を押して「OK」を選ぶ

インターネット
URL
http://www.xx.yy.zz.co.jp/
OK
クリア

次ページへ→

→つづき

7 （決定）を押す

■ **URL（アドレス）に使用できる文字と文字数は**

URLに使用できる文字は、漢字、全角カナ、全角英字、全角数字、半角カナ、半角英字、半角記号、半角数字、区点です。文字数は最大全角250文字（半角500文字）までです。

■ **表示しているページのURLを確認するには**

① ページを表示中にメニューボタンを押す
② ▲ または ▼ で「URL参照」を選ぶ
③ （決定） を押す

■ **「Ｌモード」を終了させるときは**

停止ボタン を押します。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

キャッチ/消去 Ｌ回線断 を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 Ｌ回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

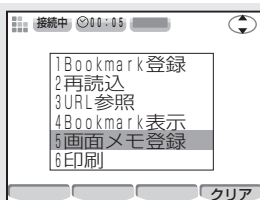
- 指定できるURLは1回に1つです。
- URL入力したあと回線接続中に操作を中止するときは、「接続中」または「ページ取得中」と画面表示されている間に （決定） を押してください。
- 手順3では「http://」が自動的に入力されています。
- 入力するURLの先頭には必ず「http://」または「https://」を付けてください。「http://」または「https://」がないとページに接続できません。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなど含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF，JPEG形式以外の画像は表示されません。

サイトのページを保存する

表示中のサイトのページを「画面メモ」として保存することができます。保存した画面メモは「Lモード」と通信せずにいつでも表示できますので、たとえば、料理のレシピや乗換案内など、一度表示した画面をあとから利用したいときに便利です。

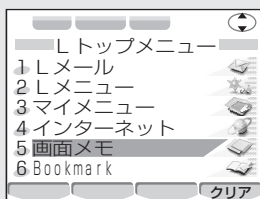
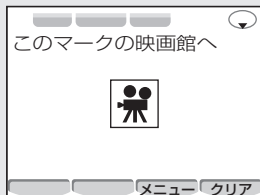
画面メモを保存する

1 ページを表示中に メニュー を押す

2 または で「画面メモ登録」を選ぶ

3 /決定 を押す

●すでに画面メモが3件登録されているときは、「画面メモがいっぱいです。」と表示され新しく画面メモを保存できません。

画面メモを表示する

1 待機画面を表示中に /決定 を押し、 または で「画面メモ」を選ぶ

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

2 /決定 を押す

●保存されている画面メモが表示されます。画面メモが保存されていないときは、「画面メモの登録がありません。」と表示されます。

3 画面メモを見る

●他に登録されている画面メモがあるときは、 が表示されます。▶ を押すと次の画面メモを表示します。◀ を押すと1つ前の画面メモを表示します。

画面メモを削除する

1 削除したい画面メモを表示する
（P.8-61）

2 メニュー を押す

3 「削除」を選ぶ

4 決定 を押す

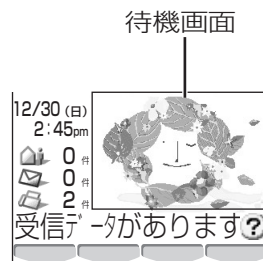
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

●画面メモを削除すると、次の画面メモが表示されます。
残り1件の画面メモを削除したときは「画面メモの登録がありません。」と表示されます。

お知らせ

- 画面メモは3件まで保存できます。ただしページの情報量によっては保存できる件数が少なくなることがあります。
- リンク先のあるページも画面メモに保存することができます。画面メモからリンク先を選択すると、「Lモード」に接続され、リンク先のページが表示されます。
- 画像表示設定（P.8-74）を「表示しない」に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。（その後画像読込み設定を「表示する」にしてから画面メモを表示させても、画像は表示されません。）
- 画面メモ内からも、PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能が使えます。（P.8-70～8-73）

画面メモを待機画面に登録する

画面メモ（P.8-61）に保存している画像を待機画面として使用することができます。

待機画面

画面メモに保存している画像を待機画面に登録する

1 待機画面に表示したい画面メモを表示する
（P.8-61）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

2 メニュー を押す

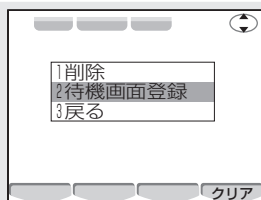
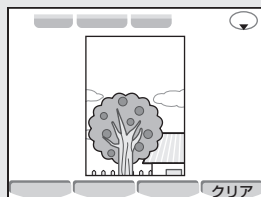
3 ▲ または ▼ で「待機画面登録」を選ぶ

1削除
2待機画面登録
3戻る
クリア

4 決定 を押す

●画像データが表示されます。

5 登録したい画像を表示する

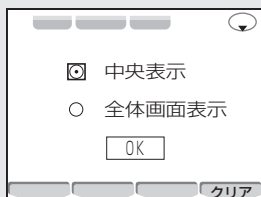
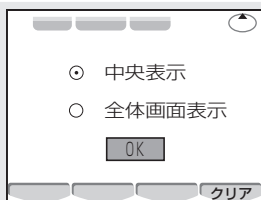
クリア

●画面表示されていない画像を選択するときは▲または▼を押して表示させてください。

6 決定 を押す

次ページへ→

→つづき

7 画面の表示形式を選ぶ（下記）

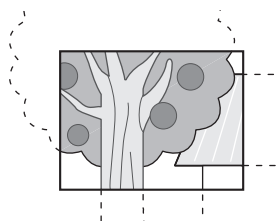
●▲または▼で「中央表示」、「全画面表示」から選択し、（決定）を押してください。

8 「OK」を選んで、（決定）を押す

9 待機画面の設定を「ダウンロード画像」にしてください
（P.7-2）

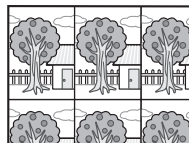
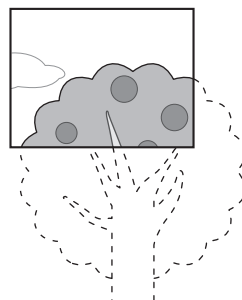
●「アニメーション」に設定されていると、画面メモに保存しておいた画像が表示されません。

■ **待機画面の表示のされかた**

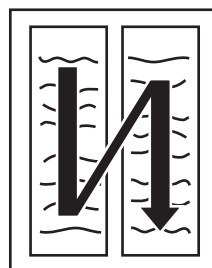
● 中央表示

画像サイズが待機画面より小さいとき

画像サイズが待機画面より大きいとき

● 全画面表示

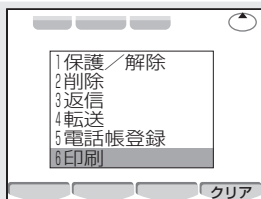
画像サイズが待機画面より小さいとき

画像サイズが待機画面より大きいとき

表示したページをプリントする

受信したメールの内容や、サイトのページを記録紙に印刷することができます。（ページプリント）

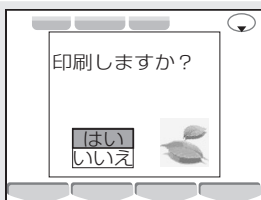
● 長いページ（コンテンツ）をプリントするときは、左右に並べてプリントするため経済的です。（メールは左右に並べてプリントできません。）

ページプリントする

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 印刷したいメールの内容やページを表示する

2 メニュー を押し、（▽）または（△）で「印刷」を選ぶ

3 （決定）を押す

●印刷確認画面が表示されます。

4 （△）または（▽）で「はい」を選ぶ

●印刷をしないときは、「いいえ」を選びます。

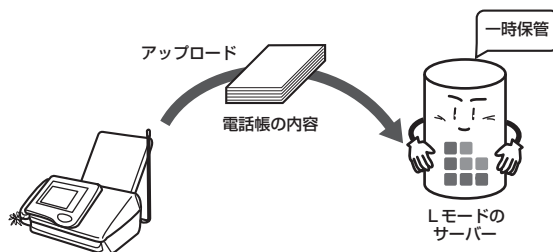
5 （決定）を押す

●印刷が始まります。

お知らせ

● ページを記録紙に印刷するときは、あらかじめファクス本体に記録紙をセットしておいてください。

電話帳やBookmarkデータをアップロード（送信）する

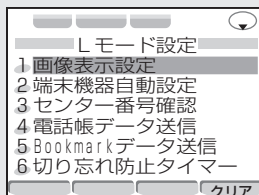
ファクス本体に登録されている電話帳やBookmarkの内容をＬモードのサーバーに送信して一時保管することができます。（データアップロード）「Ｌモード」用端末の買い換えや修理のときに便利です。買い換えや修理後に一時保管したデータをダウンロード（P.8-68）すると引き続き電話帳やBookmarkの登録内容をご利用になれます。

電話帳やBookmarkデータをアップロードする

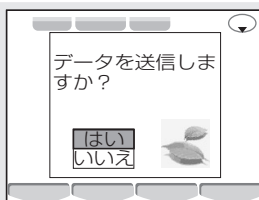
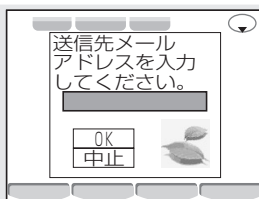
（例）電話帳データをアップロードする場合

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

1 待機画面から 登録 を押す

2 ▲ または ▼ で「Ｌモード設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ または ▼ で「電話帳データ送信」を選び、決定 を押す

- Bookmarkデータをアップロードするときは ▼ を4回押して「Bookmarkデータ送信」を選択してください。
- 「データがありません。」と表示されたときは、アップロードしようとした電話帳またはBookmarkデータが登録されていません。

4 「はい」を選び、決定 を押す

5 送信先メールアドレス（お客様の「Ｌモード」のメールアドレス）を入力する

①アドレス入力エリアが選択されていることを確認する
② 決定 を押す
③お客様の「Ｌモード」のメールアドレスを入力する。メールアドレスは“@”より前の部分のみ入力してください

- 送信先メールアドレス（お客様の「Ｌモード」のアドレス）は、間違わないように入力してください。
お客様以外の方へ送信されることがあります。

次ページへ→

→つづき

6 **入力が終わったら（/決定）を押す**

7 **（▲）または（▼）で「OK」を選び、（/決定）を押す**

8 **「Lモード」に接続され、データがアップロードされる**

9 **（/決定）を押す**

●待機画面に戻ります。

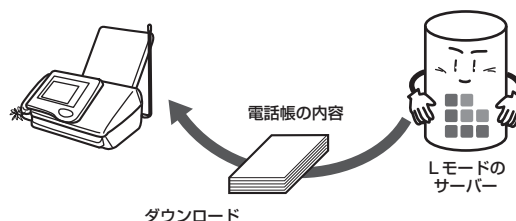
■ 「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

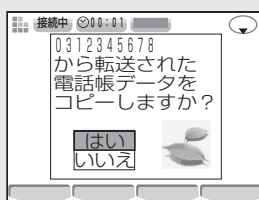
● 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。

電話帳やBookmarkデータをダウンロード（受信）する

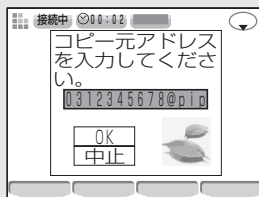
「Ｌモード」に保存している電話帳やBookmarkデータを、メールを受信する操作を行ってファクス本体にダウンロードします。

電話帳やBookmarkデータをダウンロードする

（例）電話帳データをダウンロードする場合

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 メールを受信する操作を行う
（P.8-23）

2 「はい」を選んで、（決定）を押す

●「いいえ」を選んで（決定）を押すと、「削除しますか？」と表示されて受信したデータを削除することができます。

3 コピー元のアドレス（お客様の「Ｌモード」のメールアドレス）を入力する

①アドレス入力エリアが選択されていることを確認する
②（決定）を押す
③お客様の「Ｌモード」のメールアドレスを入力する

●アドレスは“@”より前の部分のみ入力してください。

4 入力が終わったら（決定）を押す

次ページへ→

→つづき

5 （上）または（下）で「OK」を選び、（決定）を押す

●自動的にデータをダウンロードします。ダウンロードは、**１回のみ**です。ダウンロードをした後Ｌモードのサーバーに保存していたデータは自動的に削除されます。

6 受信完了のメッセージが表示されたら、（上）または（下）で「はい」を選ぶ

7 （決定）を押す

●受信メール一覧画面に戻ります。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 登録されている電話帳やBookmarkがあった場合、ダウンロードしたデータは追加されます。ただし、電話帳やBookmarkが一杯でダウンロードしたデータが追加できない場合、ダウンロードしたデータは追加されずに、削除されます。
- 受信した電話帳やBookmarkデータは受信メールに保存されません。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 電話帳やBookmarkは必ず親機でダウンロード（受信）してください。子機でメール受信すると正しくダウンロードできません。

PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能を使う
（フォン トゥ・メイル トゥ・ファクス トゥ・ウェブ トゥ）

◆ PHONE TO：　メールやサイト、画面メモ内にある、電話番号に簡単に電話をかけることができます。
◆ MAIL TO・FAX TO：メールアドレスにメールを送る（MAIL TO機能）、FAX番号に接続しファクスを受信することができます。
◆ WEB TO：　URL（アドレス）に接続しページを表示することができます。

PHONE TO, MAIL TO, FAX TO, WEB TO機能が使えるのは、カーソルを移動したときに白黒反転する電話（ファクス）番号やURL（アドレス）のみです。

PHONE TO機能を使う

（例）受信メール内の電話番号に電話をかけます。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
（P.8-23）

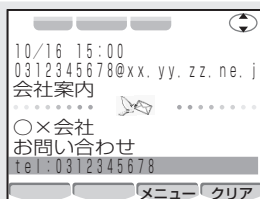
2 ［上］または［下］で画面内の電話番号を選ぶ

3 ［決定］を押す

●確認画面が表示されます。

4 ［上］または［下］で「はい」を選ぶ

●発信する電話番号を確認してから操作してください。

5 ［決定］を押す

●自動的に電話番号にダイヤルします。

6 相手の方がでたらお話しする 通話が終わったら スピーカーホン を押す

●自動的にハンズフリー通話になります。受話器を取ってお話しすることもできます。
●受話器を取っているときは受話器を戻します。
●待機画面が表示されます。

お知らせ

● サイトや画面メモ内からPHONE TO機能の操作を行う場合、画面内の電話番号の表示が異なる場合があります。
● 発信後の通話には通話料金がかかります。

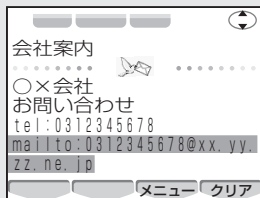
MAIL TO機能を使う

（例）受信メールの内のメールアドレスにメールを送信します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

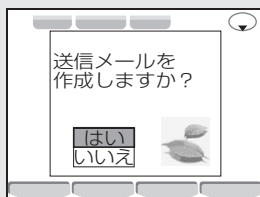
1 受信メールを表示する
（P.8-23）

2 または で画面内のメールアドレスを選ぶ

会社案内
○×会社
お問い合わせ
tel:0312345678
mailto:0312345678@xx.yy.zz.ne.jp
メニュー クリア

3 を押す

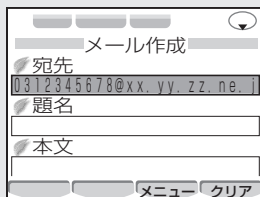
●確認画面が表示されます。

4 または で「はい」を選ぶ

送信メールを
作成しますか？
はい
いいえ

●「これ以上、メールが保存できません」と表示されたときは、未送信メールと送信済メールが合わせて30件保存されていて、新しくメールを作成することができません。を押したあと不要な未送信メールまたは送信済メールを削除（P.8-40〜8-41、8-45）してからもう一度操作をやり直してください。

●メール作成画面が表示されます。

5 を押す

メール作成
宛先
0312345678@xx.yy.zz.ne.j
題名
本文
メニュー クリア

6 メールを作成し送信する
（P.8-8〜8-9）

●メール作成画面が表示されたときは、メールアドレスがすでに入力された状態になっています。
●メールアドレス（宛先）を確認してから送信してください。

お知らせ

● サイトや画面メモ内からMAIL TO機能の操作を行う場合、画面内のメールアドレスの表示が異なる場合があります。

FAX TO機能を使う

（例）受信メール内のファクス番号に接続しファクスを受信します。

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
（P.8-23）

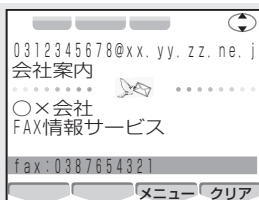
2 （上）または（下）で画面内のファクス番号が設定されている項目を選ぶ

0312345678@xx.yy.zz.ne.j
会社案内
○×会社
FAX情報サービス
fax:0387654321
メニュー　クリア

3 （決定）を押す

●確認画面が表示されます。

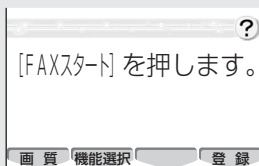
4 （上）または（下）で「はい」を選ぶ

0387654321
に発信します。
はい
いいえ

●ファクス受信時は原稿をセットしていない状態で操作してください。
●ファクス番号を確認してから操作してください。

5 （決定）を押す

●ファクス番号へ発信します。

6 相手先につながったことを確かめる

[FAXスタート] を押します。
画 質　機能選択　登 録

●ファクス受信確認画面が表示されます。

7 FAXスタート を押す

●ファクスを受信します。
●ファクスの受信が終わると待機画面が表示されます。

お知らせ

● サイトや画面メモ内からFAX TO機能の操作を行う場合、画面内のファクス番号の表示が異なる場合があります。
● 発信後のファクス受信には通信料金がかかります。

WEB TO機能を使う

（例）受信メール内のURL（アドレス）に接続しページを表示します。

1 受信メールを表示する
（P.8-23）

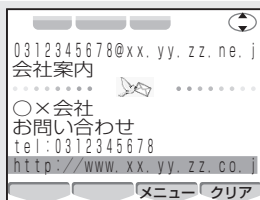
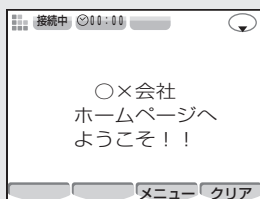
2 または で画面内のURL（アドレス）が設定されている項目を選ぶ

0312345678@xx.yy.zz.ne.j
会社案内
○×会社
お問い合わせ
tel:0312345678
http://www.xx.yy.zz.co.j
メニュー クリア

3 を押す

4 ページが表示される

接続中 00:00
○×会社
ホームページへ
ようこそ！！
メニュー クリア

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

■ **1つ前の画面に戻るときは（P.8-49）**

が表示されているときに、を押してください。

■ **「Lモード」を終了させるときは**

停止ボタンを押します。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

キャッチ/消去 L回線断 を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **表示したページを記録紙にプリントするには（P.8-65）**

お知らせ

- サイトや画面メモ内からWEB TO機能の操作を行う場合、画面内のURL（アドレス）の表示が異なる場合があります。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

設定項目	登録の操作手順
画像表示設定 サイトやメッセージに含まれている画像を読み込まないようにできます。	登録 ▶ で「**Ｌモード設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ で選ぶ（1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー）▶ /決定 ▶ で選ぶ（⊙表示する ○表示しない）▶ /決定 ▶ で OK を選ぶ ▶ /決定
端末機器自動設定 Ｌモードサービスをはじめてご利用になる場合、設定センタからアクセスポイント電話番号を登録します。	登録 ▶ で「**Ｌモード設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ で選ぶ（1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー）▶ /決定 ▶ で「**はい**」を選ぶ（サービス利用時に発信者番号の通知が必要です。通知しますか？ はい いいえ）▶ /決定 ▶（サービスの利用に必要な情報のダウンロードが終了しました。OK）▶ /決定
センター番号確認 端末機器自動設定で登録されたアクセスポイント電話番号をディスプレイに表示することができます。	登録 ▶ で「**Ｌモード設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ で選ぶ（1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー）▶ /決定 ▶ /決定

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

設定項目	登録の操作手順
電話帳データ送信 ファクスに登録した電話帳の内容を送信することができます。	登録 ▶ ▲▼で「Ｌモード設定」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲▼で選ぶ 1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー ▶ 決定 ▶ 送信先メールアドレスを入力して、電話帳データを送信します。操作方法はP.8-66をご覧ください。
Bookmarkデータ送信 ファクスに登録したBookmarkのデータを送信することができます。	登録 ▶ ▲▼で「Ｌモード設定」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲▼で選ぶ 1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー ▶ 決定 ▶ 送信先メールアドレスを入力して、Bookmarkデータを送信します。操作方法はP.8-66をご覧ください。
切り忘れ防止タイマー 回線が接続されたまま何も操作しなかった時に、自動的に回線を切断します。	登録 ▶ ▲▼で「Ｌモード設定」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲▼で選ぶ 1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー 操作中やプリント中のときでも、最後に「Ｌモード」にアクセスしてから、設定時間がたつと自動的に回線を切断します。 ▶ 決定 ▶ 決定 ▶ ▲▼で選ぶ プルダウンメニューで選択 01分～10分 無監視 （3分）（初期値） ▶ 決定 ▶ ▲▼で OK を選ぶ ▶ 決定

Ｌモードを便利に使う

Ｌモード